

# 三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事

## 設 計 図

図 面 リ ス ト			
建 築 工 事			
A-01	建築工事特記仕様書(改修)1	A-21	実習棟 立面図8
A-02	建築工事特記仕様書(改修)2	A-22	実習棟 立面図9
A-03	建築工事特記仕様書(改修)3	A-23	実習棟 立面図10
A-04	建築工事特記仕様書(改修)4	A-24	実習棟 立面図11
A-05	建築工事特記仕様書(改修)5	A-25	実習棟 1階独立柱平面図
A-06	建築工事特記仕様書(改修)6	A-26	食堂 平面図
A-07	配置図	A-27	食堂 屋根伏図
A-08	実習棟1階 平面図	A-28	食堂 断面図
A-09	実習棟2階 平面図	A-29	食堂 建具表
A-10	実習棟3階 平面図	A-30	食堂 平面図
A-11	実習棟塔屋 塔屋平面図	A-31	食堂 立面図1
A-12	実習棟 断面図	A-32	食堂 立面図2
A-13	実習棟 仕上表、建具表	A-33	食堂 立面図3
A-14	実習棟 立面図1	A-34	食堂 立面図4
A-15	実習棟 立面図2	A-35	食堂 立面図5
A-16	実習棟 立面図3		
A-17	実習棟 立面図4		
A-18	実習棟 立面図5		
A-19	実習棟 立面図6		
A-20	実習棟 立面図7		

公益財団法人

三重県建設技術センター

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称 三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事
II. 工事概要 実習棟、食堂棟の外壁改修工事
1 工事場所 三重県津市津が丘1丁目1番地1
2 敷地面積
3 工事内容 棟名称 構造 建築面積 延べ面積 工事項目 外壁改修

- III. 建築改修工事仕様
1 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。
2 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 (3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目を示す。

Table with columns: 章, 項目, 特記事項. Includes sections for ① 一般共通事項 (General Common Items) and ⑥ 建設副産物情報交換システムの利用 (Construction By-product Information Exchange System Utilization).

Table with columns: 項目, 内容. Includes sections for 1 1 調査のための破壊部分の補修 (Investigation for repair of damaged parts), 1 2 建築材料等 (Building materials), 1 3 化学物質の濃度測定 (Measurement of chemical substance concentration), ④ 特別な材料の工法 (Special construction methods for special materials), ⑥ 工事写真 (Construction photos), ⑦ 完成図 (Completion drawings), ⑧ 完成写真 (Completion photos), ⑨ 電子納品 (Electronic delivery), ⑩ 設備工事との取合い (Coordination with equipment work), ⑪ 既存部分等への処置 (Treatment of existing parts), ⑫ 事故報告 (Accident reports), ⑬ 県内企業優先使用 (Priority use of local companies), ⑭ 総合評価方式 (Comprehensive evaluation system), ⑮ 不当介入を受けた場合の措置 (Measures taken in case of undue interference), ⑯ 消防提出書類 (Fire safety documents), ⑰ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 (Period when principal/managerial technical staff are not required for full-time duty), ⑱ 工事の一時中止に係る計画の作成 (Creation of plans for temporary suspension of work).

Table with columns: 項目, 内容. Includes sections for ② 仮設工事 (Temporary construction), ③ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置 (Labor safety measures under the Labor Safety and Health Act), 3 0 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重 (Wind pressure and snow load determined by Building Standards Act), ④ 火災保険等 (Fire insurance, etc.), ⑤ 不正経油の使用の禁止 (Prohibition of unauthorized kerosene use), 3 3 技術検査 (Technical inspection), ⑥ 安全に関する資料 (Safety-related materials), 3 5 屋外広告物 (Outdoor advertising objects), ⑦ 社会保険等未加入対策 (Measures for non-payment of social insurance), ⑧ 主任技術者又は監理技術者の兼任 (Concurrent duty of principal/managerial technical staff), ⑨ 現場での安全確保（自主施工原則） (Safety at the site (Self-construction principle)), ⑩ 足場 (Scaffolding), 2 2 既存部分の養生 (Maintenance of existing parts), 3 仮設間仕切り (Temporary partitioning), 4 監理事務所 (Supervisory office), 5 監理事務所の備品等 (Supervisory office equipment), ⑥ 仮設便所 (Temporary toilet), ⑦ 工事用水 (Construction water), ⑧ 工事用電力 (Construction electricity), ⑨ 交通誘導警備員 (Traffic guidance personnel).

公益財団法人

三重県建設技術センター

Table with columns: Job Title, Drawings Title, 設計担当者, DATE, SCALE, No Scale, A-01.

③ 防水改修工事

1	アスファルト防水 (3.1.4) (3.3.3) (表3.3.3)~ (表3.3.10)	工法	種別	施工箇所	
		・PIB	・B-1 ・ B-2 ・ B-3		
		・PIE	・E-1 ・ E-2		
		・P2E			
		改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( ) 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )			
		部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( ) 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )			
		断熱工法の断熱材 (P1B1, P2A1, T1B1, P0D1, M3D1, M4D1) 材質 ・ ( ) ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b (スキンあり) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 厚さ ・ ( ) ルーフトレンドリ回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号: )			
		脱気装置 (M3D, P0D, P0D1, M3D1, M4D1) ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ), 材質 ( )) ・ 設けない ・ 仕上塗料 種類 ( ) 使用量 ( )			
		保護コンクリートの厚さ くて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ( ) 床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ( )			
		保護層 ・ 設ける ・ 設けない 屋上排水溝の適用 ・ 適用する 立上り保護 ・ 乾式保護材 ( ) ・ れんが (材種 ・ JIS R1250)			
2	改質アスファルトシート防水 (3.4.2)	改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ ( ) 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ ( )			
		粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ ( ) 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ ( )			
		断熱工法の断熱材 (M3A1, M4A1, P0A1) 材質、厚さ ( ) 図示 ( )			
		工法	種別	施工箇所	
		・M4AS	・AS-T1 ・ AS-T2 ・AS-J2		
		脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ), 材質 ( )) ・ 設けない			
		ルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ( ) 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ( )			
		絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ( ) 断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質、厚さ ( ) ・ 図示 ( )			
		工法	種別	種別	
		・S3S	・S-F1 (S1-F1)		
・S3S1	・S-F2 (S1-F2)				
3	合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2)	脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ), 材質 ( )) ・ 設けない			
		ルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ( ) 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ( )			
		絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ( ) 断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質、厚さ ( ) ・ 図示 ( )			
		工法	種別	種別	
		・S3S	・S-F1 (S1-F1)		
		・S3S1	・S-F2 (S1-F2)		
		脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ), 材質 ( )) ・ 設けない			
		既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理 ・ 図示 (図面番号: ) 増張り ・ 図示 (図面番号: ) 保護層の施工 ・ 図示 (図面番号: )			
		工法	種別	施工箇所	
		・POX	・X-1 ・ X-2		
・L4X					
4	塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3)(a)	脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ), 材質 ( )) ・ 設けない			
		工法	種別	施工箇所	
		・PIY	・Y-2		
		・PZY			
		保護層 ・ 図示 (図面番号: )			
		(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない			
		(3.2.6)(c)(2) (3.2.6)(c)(6)			

6	シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	材料	種類	材種	施工箇所	
		・SR-1	シリコーン系	ガラス		
		・SR-2	シリコーン系			
		・MS-2	変成シリコーン系	建具枠周り		
		・PS-2	ポリサルファイド系			
		・PU-2	ポリウレタン系			
		工法 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 (ボンドブレードカー幅 mm、エッジング材幅 mm)				
		シーリング材の試験 ・簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ( ) 行わない				
		7 とい (3.8.2) (表3.8.1)				
		8 アルミニウム製 笠木 (3.9.2)(c) (表3.9.1)				
固定金具の間隔 ( mm) (3.9.3)(b) 固定方法 ( ) (3.9.2)(d) (3.9.3)						
表面処理 ( ) (3.9.3)						
工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号: ) 下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号: ) 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号: ) 笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号: ) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。						
④ 外壁改修工事	① 施工数量調査 (4.1.4) (4.1.5)	・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ( ) 全面 ( ) 調査項目 ( ) ひび割れ部 ( ) 幅0.2mm ( ) 0.2mm~1.0mm ( ) 1.0mm以上 ( ) ( ) はがれ及びはく落部分 ( ) 浮き部 調査方法 ( ) 打診、目視及びクラックスケール等 ( ) 足場 ( ) ゴンドラ 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)				
		外壁	種類	改修工法		
		・コンクリート打直し 仕上げ外壁	ひび割れ部 欠損部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法 ・ 充填工法		
		・モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部 欠損部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング		
			浮き部	・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法		
		・タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部 欠損部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ タイル張替え工法 ・ タイル張替え工法		
			浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法		
		・塗り仕上げ外壁	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法 ・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り		
			新規仕上げ	・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り		
		② 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)				

③ 改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	・ 樹脂注入工法 種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ( ) 注入量 ( ) 注入間隔 ( ) ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ( ) 注入量 ( ) 注入間隔 ( ) ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 ( ) 注入量 ( ) 注入間隔 ( ) 材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない ・ 抜取り個数 ( ) ・ 抜取り部分補修方法 ( )						
	(4.2.2)(b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)						
	・ リカットシーリング材充填工法 材料 ・ シーリング材充填材 ( ・ PU-1 ・ PU-2 ( ) ) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない						
	(4.2.2)(c) (4.3.6) (4.4.7)						
	・ シール工法 材料 ・ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂						
	(4.2.2)(d) (4.3.7) (4.4.8)						
	・ 充填工法 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル						
	(4.2.2)(g) (4.4.9)						
	材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 ( ) 仕上げ厚 ( )						
	(4.2.2)(e) (4.4.10) (表4.4.1)						
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピン数の本数 ・ 標準 ( ) 材料 ・ ステンレス鋼 ( SUS304 ) ( )							
(4.2.2)(e) (4.4.11) (表4.4.2)							
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピン数の本数及び注入口の数 ・ 標準 ( ) 材料 ・ ステンレス鋼 ( SUS304 ) ( )							
(4.2.2)(e) (4.4.12) (表4.4.2)							
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン数の本数及び注入口の数 ・ 標準 ( ) 材料 ・ ステンレス鋼 ( SUS304 ) ( )							
(4.2.2)(f) (4.4.13) (表4.4.3)							
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピン数の本数 ( ) 標準 ( ) 材料 ( ) ステンレス鋼 ( SUS304 ) ( ) 呼び径 ( ) 6mm ( )							
(4.2.2)(f) (4.4.14) (表4.4.4)							
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピン数の本数及び注入口の数 ・ 標準 ( ) 材料 ・ ステンレス鋼 ( SUS304 ) ( ) 呼び径 ・ 6mm ( )							
(4.2.2)(f) (4.4.15) (表4.4.4)							
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピン数の本数及び注入口の配置 ・ 標準 ( ) 材料 ・ ポリマーセメントスラリー ( ) ・ 注入口付アンカーピン ( ) ステンレス鋼 ( SUS304 ) ( ) 呼び径 ・ 6mm ( )							
(4.2.2)(h) (4.5.7)							
・ タイル部分張替え工法 材料 ( ) ポリマーセメントモルタル							
・ 変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂							
施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分 I類(磁器) II類(せっ器) III類(陶器)	役物	標準・特注色	耐凍害性有無
図面による							
・ 役物 ( ) 一体成形 ( ) 接着加工 ( ) ・ 試験張り ・ 行う ( ) 行わない ( ) ・ 見本焼き ・ 行う ( ) 行わない ( )							
(4.2.2)(h) (4.5.8) (表4.5.4)				・ タイル張替え工法			
タイルの種類		タイルの大きさ		工法		塗り厚(mm)	
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り ・ 改良積み上げ張り		・ マスク張り		5~8 4~7 4~6 3~4	
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満	・ マスク張り		・ モザイクタイル貼り		3~4 3~5	
(4.5.15)							
・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピン数の本数 ( ) 本							
(4.2.2)(h) (4.5.16)							
・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地 (位置 寸法 x ) 検査 シーリング接着性試験 ・ 行う ( ) 簡易接着性試験 ( ) 引張接着性試験 ( )							

4	塗り仕上げ (4.2.2)(j) (表4.2.4(その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																	
		薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	吹付け こて																																	
				・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	ローラー 吹付け こて																																	
		厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし	吹付け こて																																	
				・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	吹付け こて ローラー																																	
・( )	・( )	・( )	・( )																																			
複層仕上塗材	複層塗材E 複層塗材RE 防水形複層塗材E 防水形複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様	ローラー 吹付け																																			
		・( )	・( )																																			
可とう形改修用 仕上塗材	可とう形改修塗材E 可とう形改修塗材RE 可とう形改修塗材OE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	ローラー 吹付け																																			
		・( )	・( )																																			
・外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 ( kg/m <sup>2</sup> ) ・マステック塗材塗り ・ A種 ・ B種 仕上材塗り ( )																																						
(4.7.2) (表4.7.1) (表4.2.5)																																						
複層仕上塗材の上塗材の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル シリコン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ふっ素系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </tbody> </table> (注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。						樹脂種類	溶媒種類	外観	○ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック		・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
樹脂種類	溶媒種類	外観																																				
○ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																				
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																				
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																				
	・ 水系	・ 艶無																																				
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																				
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																				
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																				
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																				
・ ふっ素系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																				
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																				
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																				
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																				
(4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 水洗い工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ テッキブラシ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧ポンプ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						工法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法		・ 塗膜はく離工法		○ 水洗い工法		・ テッキブラシ		・ 高圧ポンプ																				
工法	処理範囲																																					
・ サンダー工法																																						
・ 高圧水洗工法																																						
・ 塗膜はく離工法																																						
○ 水洗い工法																																						
・ テッキブラシ																																						
・ 高圧ポンプ																																						
(4.6.4) 下地調整 ・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ( )																																						
5 建具 改修 工事	1 改修工法 (5.1.3)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシル工法																																				
	2 防火戸 (5.1.4)	・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法																																				
	3 見本の製作 (5.1.5)	・ 例示仕様 ・ 自動閉鎖機構	・ 個別認定 (認定番号: ) ・ 図示 (図面番号: )																																			
	4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 製作する ・ 製作しない																																				
	5 ブラインドボックス等 (5.1.6)(c)	・ 図示 (図面番号: )																																				
	6 アルミニウム製 建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 ) ・ 耐震ドアセット (等級 ) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号: )																																				
アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・ 外部に面する建具 ・ B-1 ・ B-2 ・ ( ) ・ 内部に面する建具 ・ C-1 ・ C-2 ・ ( )																																						

7 網戸 (5.2.3)(e)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ
8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 ) ガラス ・ 複層ガラス ・ ( ) 建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号: ) 水切り ・ 図示 (図面番号: ) ぜんば ・ 図示 (図面番号: ) 丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号: )
9 鋼製建具 (5.4.2)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 ) ・ 耐震ドアセット (等級 ) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ ( ) JIS G 3317 ・ Y08 ・ ( ) ・ H2400又はW950の建具 鋼板の厚さ ・ 図示 (図面番号: )
10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 ) ・ 耐震ドアセット (等級 ) ・ H2400又はW950の建具 鋼板の厚さ ・ 図示 (図面番号: )
11 ステンレス製 建具 (5.6.2) (5.4.2) (5.6.3) (5.6.4) (5.6.5)	表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ( ・ HL ・ 鏡面 ) ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 ) ・ 耐震ドアセット (等級 ) 材料 ・ SUS304 ・ ( ) 表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ( ) 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
12 建具用金物 (5.7.2) (5.7.4)	金物の見え掛り部等の材質等 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.1)による ・ 図示 (図面番号: ) マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない 引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要
13 自動ドア開閉 装置 (5.8.2) (5.8.3) (表5.8.3) (5.8.3)(f)	開閉装置の性能値 ・ 図示 (図面番号: ) センサーの種類 ・ 図示 (図面番号: ) 凍結防止措置 ・ あり ・ なし
14 自閉式上吊り 引戸装置 (5.9.3)	自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書 (表5.9.1)による ・ ( )
15 重量シャッター — (5.10.2) (5.10.2)(c) (表5.10.1) (5.10.2)(f) (5.10.3)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 耐風圧強度 ( Pa以上 ) 開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ( )
16 軽量シャッター — (5.11.2) (表5.11.1) (5.11.4)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 ( Pa以上 ) スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ( ) JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ( )

17 オーバーヘッド ドア (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 ( Pa以上 ) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ 図示 (図面番号: )																																																													
18 板ガラス (5.13.2)(a) (5.13.4)	・ 図示 (図面番号: )																																																													
19 ガラス留め材 (5.13.2)(b)	・ シーリング ・ ガスケット ( )																																																													
20 ガラス溝の寸 法、形状等 (5.13.3)	・ 図示 (図面番号: ) ・ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による																																																													
21 ガラスブロッ ク積み (5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号: ) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号: ) 化粧カバー ・ 図示 (図面番号: ) 工法 ・ 図示 (図面番号: ) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。																																																													
6 内装 改修 工事	1 一般事項 (6.1.3)(b)	既存間仕壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 天井</td> <td>・ 図示 (図面番号: A-08~A-19)</td> </tr> <tr> <td>・ 壁</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> </tr> </tbody> </table>	改修部分	改修範囲	・ 天井	・ 図示 (図面番号: A-08~A-19)	・ 壁	・ 図示 (図面番号: )	・ 床	・ 図示 (図面番号: )																																																				
	改修部分	改修範囲																																																												
	・ 天井	・ 図示 (図面番号: A-08~A-19)																																																												
	・ 壁	・ 図示 (図面番号: )																																																												
	・ 床	・ 図示 (図面番号: )																																																												
	(6.1.3)(c)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																																												
(6.1.3)(f)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																																													
2 既存床撤去、下 地補修 (6.2.2)(a)(1) (6.2.2)(a)(2) (6.2.2)(c)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない 合成樹脂塗り床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ( )																																																													
3 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)	既存間仕壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ( )																																																													
4 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1) (6.5.2)(a)(2) (表6.5.2) (6.5.2)(b)(1) (6.5.2)(b)(2) (6.5.2)(b)(3) (表6.5.3) (6.5.2)(b)(3) (6.5.2)(c)(i)	表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table> 製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地用</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>造作用</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示 (図面番号: ) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ( ) 樹種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>産 地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 代替樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない 造作用集材 「集材の日本農林規格」による造作用集材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種 ・ 寸 法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>厚 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用 集材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用 造作用集材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	部材名称	種別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	造作用	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	広葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	部 位	樹 種	産 地													部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚 さ	造作用集材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )		化粧ばり造作用 集材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )		化粧ばり構造用 造作用集材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	
部材名称	種別																																																													
下地材	・ A種 ・ B種																																																													
造作材	・ A種 ・ B種																																																													
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率																																																											
下地用	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																																											
針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																																											
造作用	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																																											
針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																																											
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																																											
部 位	樹 種	産 地																																																												
部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚 さ																																																											
造作用集材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																												
化粧ばり造作用 集材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																												
化粧ばり構造用 造作用集材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																												

(6.5.2)(c)(ii) 「集成材の日本農林規格」以外の製材  
樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号: )  
含水率 ・ 15%以下 ・ ( )

(6.5.2)(d)(i) 造作用単板積層材  
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	厚さ	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	図示 (図面番号: )	( )	( )

(6.5.2)(d)(ii) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材  
厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号: )  
含水率 ・ 14%以下 ・ ( )

(6.5.2)(e) ・ 床張り用合板等

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

(6.5.5)(a) ・ 防蟻、防蟻処理  
適用部位 図示 (図面番号: )  
保存処理性能区分 ( )  
薬剤の塗布等の処理方法 ( )  
ボード原料接着剤への防蟻・防蟻処理 ( )

(6.5.5)(b) ・ 防虫処理  
・ 図示 (図面番号: )

5 軽量鉄骨天井  
野縁等の種類  
・ 屋内 ・ 19形 ・ ( )  
・ 屋外 ・ 25形 ・ ( )

(6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3) 形式及び寸法  
・ 屋外 ・ 図示 (図面番号: )  
・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号: A-8~A-19)  
・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(h) ・ 図示 (図面番号: )  
・ ふところ>3m ・ 図示 (図面番号: )

(6.6.4) 既存埋込みインサート  
・ 使用する ・ 使用しない  
既存埋込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験  
・ 行う (図示 (図面番号: )) ・ 行わない  
耐震天井  
・ 図示 (図面番号: A-8~A-19)

6 軽量鉄骨壁下地  
スタッド、ランナー等の種類  
・ 図示 (図面番号: )

7 ビニル床シート、  
ビニル床タイル  
及びゴム床タイル張り  
材料  
・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
FS	柄	2.0mm	

(6.8.2) (6.8.2)(a) ・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】

種類の記号	厚さ	備考
半硬質ビニル床タイル	2.0mm	

(6.8.2)(b) ・ 帯電防止シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考

(6.8.2)(c)(1) ・ 視覚障害者用床タイル

種類	形状	備考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

(6.8.2)(c)(2) ・ 耐動荷重性床シート

種類	性能	厚さ	備考

(6.8.2)(c)(3) ・ 防滑性床シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考

(6.8.2)(c)(4) ・ ゴム床タイル

種類	厚さ	備考

(6.8.2)(e) ・ ゴム床タイル

種類	厚さ	備考

(6.8.3)(a) 工法  
下地 ・ モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他 ( )

(6.8.3)(b) ビニル床シート張り  
熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

8 カーペット敷き  
(6.9.3)(a) (表6.9.1) ・ 織じゅうたん

種別	パイルの形状	帯電性	品質の程度
・ A種	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ( )
・ B種	・ ループパイル	・ ( )	・ ( )
・ C種	・ カット、ループ併用	・ ( )	・ ( )

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)

(6.9.3)(b) (表6.9.2) ・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ( )
・ ループパイル		・ ( )	・ グリップバー工法	・ ( )
・ カット、ループ併用		・ ( )	・ ( )	・ ( )

(6.9.3)(c) ・ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	備考
	・ 人体帯電圧 3KV以下	
	・ ( )	

(6.9.3)(d) (表6.9.2) ・ タイルカーペット

種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ( )
	・ ループパイル	・ ( )	・ ( )	・ ( )

(6.9.3)(e) (6.9.3)(f) 下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ( )  
見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号: ))

(6.9.4)(e) 敷き方

平場	市松敷き	模様流し	( )
階段部分	市松敷き	模様流し	( )

9 合成樹脂塗床  
(6.10.3)(b)(1) (表6.10.4) 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工法  
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ

(6.10.3)(b)(2) (6.10.3)(c) (表6.10.5) エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類  
・ 薄膜流し厚べ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流し厚べ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑)  
・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)

10 フローリング張り  
(6.11.4) (表6.11.2) ・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種	・ ( )
	・ B種	
	・ C種	

防湿処理 ・ 図示 (図面番号: )

(6.11.5) (表6.11.3) (表6.11.5) ・ 接着工法

材種	樹種	厚さ	大きさ
・ フローリングボード (直張用)			
・ フローリングブロック (直張用)			
・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種	・ なら	
・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種	・ ( )	
・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種		
・ モザイクパーケット (直張用)	・ ( )	・ ( )	・ ( )

緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号: )

(6.11.6)(2) 塗装  
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種)  
・ オイルスチン塗りのうすワックス塗り  
・ 生地のままワックス塗り  
・ ( )

11 畳敷き  
(6.12.2) (表6.12.1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種

12 せっこうボード、その他ボード及び合板張り  
(6.13.2) (表6.13.1) 材料

材種	種別	厚さ(mm)
・ せっこうボード		壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(準不燃)
	・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9
	・ 立体模様	
・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	

(6.13.2)(h) 遮音シール材  
・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド

(6.13.3)(e)(3) 合板類の張付け  
・ A種 ・ B種

(6.13.3)(g)(1) (表6.13.5) せっこうボードの目地工法  
・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目隠し

13 壁紙張り  
(6.14.2)

施工箇所	品質	防火性能
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃

14 モルタル塗り  
(6.15.3) 既製目地材 ・ 使用する (形状: )  
床の目地 ・ 図示 (図面番号: )

15 タイル張り  
(6.16.2) (6.16.3) 伸縮調整目地  
位置 ・ 図示 (図面番号: )

16 セルフレベリング材塗り  
(6.17.2) (6.17.3) ・ せっこう系 ・ セメント系  
塗厚 ( ) mm

17 断熱材  
(9.5.2) 断熱材打込み工法  
種類 ・ A種 ・ B種

種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ A種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ A種1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドりの床版
・ A種2	・ ( )	・ 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ A種3		・ ( )

⑦ 塗装改修工事

① 材料  
(7.1.3)(b) ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )

② 下地調整  
(7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7) 既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR種の場合)  
・ 図示 (図面番号: A-9、A-14、A-15)

種別	種別	ひび割れ部の補修
下地		
・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
○ 鉄鋼面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	
・ 垂鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ モルタル、プラスター面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	

③ 錆止め塗料塗し  
(7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4) 錆止め塗料塗し種別  
鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ○ C種  
垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種

4 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)  
(7.4.2) (7.4.3)~ (表7.4.3) 塗料種別 ・ 1種 ・ ( )

種別	種別
下地	
・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種
・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種
・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種

5 クリヤラッカー塗り(GL)  
(7.5.2) (表7.5.1) 種別  
木部 ・ A種 ・ B種

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)  
(7.7.2) (表7.7.1) 種別  
・ A種 ・ B種

⑦ 耐熱性塗料塗し(DP)  
(7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3) 上塗り等級  
・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ○ 3級(ポリウレタン系)

下地	種別
鉄鋼面	・ A種 ○ B種 ・ C種
垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

8	つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-D) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別	種別
		下地	種別
		コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )
		木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
9	合成樹脂エマ ルジョンペ イント塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	種別
10	合成樹脂エマ ルジョン模様塗 料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	種別
11	ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別	種別
12	ラッカーエナ メル塗り (LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別	種別
13	木造保護塗料 塗り (WP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別	種別

8 の 1	(一般事項) 1 適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)	工事内容
		工事種別

8 の 2	1 既存部分の撤去 等 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	撤去の範囲
		撤去範囲
2 既存構造体の撤 去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	2 既存構造体の撤 去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 本工事の範囲
		撤去範囲
(既存部分の処理)	3 既存構造体コン クリートの表面 目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	既存構造体コンクリート面の表面目荒らし 目荒らし程度
		撤去範囲

8 の 3	耐震改修工事 鉄筋工事	1 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による 種別 径(mm)
		2 溶接金網 (8.2.2)	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)
		3 加工 (8.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 ( ) 図示(図面番号: )
		4 鉄筋の継手及び 定着 (8.3.4)	径 部位 重ね継手 ・ D16以下 ガス圧接 ・ D19以上 主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ・ 改修標準仕様書(8.3.4)(c)(1)による ・ 図示(図面番号: ) 継手位置 ・ 各部配筋参考図による ・ 図示(図面番号: ) 先組み工法等 ・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所にはける 鉄筋の定着長さ ・ 改修標準仕様書(表8.3.4)による ・ 図示(図面番号: ) 帯筋組立の形 ・ 図示(図面番号: )
5 鉄筋のかぶり厚 さ及び間隔 (8.3.5)	軽量コンクリートに土に接する部分 ・ 無し ・ 有り 適用箇所 ( ) 最小かぶり厚さ ( ) mm 耐久性上不利な部分 (塩害を受けるおそれのある部分等) ・ 無し ・ 有り 適用箇所 ( ) 最小かぶり厚さ ( ) mm		
6 各部配筋	・ 図示(図面番号: )		
7 ガス圧接 (8.3.8)	圧接完了後の試験 超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない		
(現場打ち鉄筋コン クリートの増設工事 及び鉄骨プレースの 設置工事等)	割製補強筋の適用		
8 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7)	種類 材料 材種 径 本数・ピッチ 適用箇所 ・ スパイラル筋 ・ 鉄筋コンクリート用 ・ R235 ・ 6Φ スパイラルの径(mm) ・ 図示 ・ 棒筋 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ・ はしご筋 ・ 鉄筋コンクリート用 ・ 295A ・ 10 壁内方向筋 ( ) ・ 棒筋(異形鉄筋) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ・ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ・ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )		
9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)	機械式継手 種類 ( ) 工法 ( ) 品質の確認方法 ( ) 修正方法 ( ) 鉄筋相互のあき ( ) mm 溶接継手 工法 ( ) 品質の確認方法 ( ) 修正方法 ( ) 鉄筋相互のあき ( ) mm		

8 の 4	耐震改修工事 コンクリート 工事	1 コンクリートの 種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)	コンクリートの種別 ・ I類 ・ II類 普通コンクリートの設計基準強度 設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ] 適用範囲 気乾単位 容積質量 スラブ ・ 21 ( ) 2.3t/m <sup>3</sup> 程度 ( )
		2 構造体コンクリ ートの仕上げ (8.1.4)	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種
(コンクリート)	3 コンクリートの 材料 (8.2.5) (表8.2.3)	セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ ( ) ・ 高伊セメントB種又はフライアッシュセメントB種 適用箇所 ( )	

4	混和材料 (8.2.5)	骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ・ AL (コンクリート中のアルカリ総量を規制) ・ A (安全と認められる骨材を使用) なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信 頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤード から試料を採取して試験を行うこと。 ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材H
		4 混和材料 (8.2.5)
5	調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)	構造体強度補正值(S) ・ 3N/mm <sup>2</sup> ・ 6N/mm <sup>2</sup> ( )
6	型枠 (8.2.7) (8.7.8)	材料 ・ 複合合板(厚さ ・ 12mm ( ) ) スリーブ ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(i)による ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(ii)による ・ 材種 ( ) 規格 ( )
7	層中コンクリ ート (8.10.2)	構造体強度補正值(S) ・ 6N/mm <sup>2</sup> ( )
8	無筋コンクリ ート (8.11.1)	構造体強度補正值(S) 18N/mm <sup>2</sup> ( ) スラブ ・ 15cm ・ 18cm ( )
(現場打ち鉄筋コン クリートの増設工事 、溶接金網巻き工 法及び溶接閉鎖フ ープ巻き工法)	9 コンクリートの 打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)	部位別のコンクリートの打設工法の指定
9	現場打ち鉄筋コン クリートの増設工 事	補強工法 打設工法 部位
		現場打ち鉄筋コンクリート壁 の増設工事
10	増設壁工事後の 仕上げ (8.21.7) (8.23.7)	柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む ( ) 柱脚柱脚の隙間寸法 ・ 図示(図面番号: ) 打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示(図面番号: ) ・ 60mm ( ) ・ 図示(図面番号: )

**8の5 耐震改修工事**

**あと施工アンカー工事**

(あと施工アンカー) 種類

1 あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)

- 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 ( ・ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み深さ ・ 図示 (図面番号: ) (8.18.2) (8.18.3)
- 引張耐力 ・ 図示 (図面番号: )
- せん断耐力 ・ 図示 (図面番号: )
- 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号: )
- 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み深さ ・ 図示 (図面番号: )
- 引張耐力 ・ 図示 (図面番号: )
- せん断耐力 ・ 図示 (図面番号: )
- アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号: )
- アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号: )
- あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない

2 あと施工アンカーの施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)

穿孔

埋込み配管等の調査の方法

- 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
- はつり出しによる。
- ( )

あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない

確認試験方法

- 改修標準仕様書 (8.11.5) による ( )

確認強度 ( )

(場所打ちコンクリート壁の増設工事)

場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ

種類

- 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
- 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー

径 [mm] ・ D10

長さ [mm] ・ 増打壁厚 - 40 ( )

彫込み深さ [mm] ・ 5d (d: シアコネクタの径) 以上 ( )

間隔 [mm] ・ 500 × 500

シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ( )

**8の6 耐震改修工事**

**鉄骨工事**

1 鉄骨製作工場 (8.1.5)

補日本鉄骨評価センター又は補全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

- J ・ R ・ M ・ H ・ S

2 施工管理技術者 (8.1.5)

施工管理技術者 (鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等) の適用

- しない ・ する

3 鋼材 (8.2.8)

材質・形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号: )

4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)

高力ボルトの適用

- トルシア形高力ボルト 2種 (S10T)
- JIS形高力ボルト2種 (F10T)
- 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)

高力ボルトの径

- 図示 (図面番号: )

すべり係数試験

- 行う

試験方法等

- 図示 (図面番号: )

JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転数

- ( )

5 仮組 (8.13.10)

仮組の実施

- 実施する ( ) ・ 実施しない

6 技能資格者 (8.15.3)

溶接作業における技能資格者の技量付加試験

- 実施する ( ) ・ 実施しない

7 溶接部の試験 (8.15.11)

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

工場溶接の場合

- 全数試験とする
- 公共建築工事標準仕様書 (平成28年版) (7.6.11) (b) による。
- 平均出検品質限界 (AQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ( )
- 検査水準 ・ 第6水準 ( )
- ロットの構成 ( )

工事現場溶接の場合

- 全数試験とする
- 公共建築工事標準仕様書 (平成28年版) (7.6.11) (b) による。
- 平均出検品質限界 (AQL) ・ 4.0% ( )

8 溶接材料 (8.2.10)

- 改修標準仕様書 (8.2.10) (a) (b) 以外の溶接材料
- 材料及び使用箇所 ・ 図示 (図面番号: )

9 溶接接合 (8.15.4) (8.15.7)

開先の形状 ・ 図示 (図面番号: )

スガールップの形状 ・ 図示 (図面番号: )

10 錆止め塗装 (8.17.3)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)

- 改修標準仕様書 (7.3.2) (表7.3.1) ( ) 種

耐火被覆材の接着する面への塗装

- 行う ・ 行わない

適用箇所 図示 (図面番号: )

種類

- 改修標準仕様書 (7.3.2) (表7.3.1) ( ) 種

**8の7 耐震改修工事**

**グラウト工事**

1 1 耐火被覆材の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)

部位	種類	仕様

1 2 プレース設置工事後の仕上げ

- 図示 (図面番号: )

(グラウト工事)

1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.11) (表8.2.5) (表8.2.10)

構造体用モルタル

- 改修標準仕様書 (8.2.6) 及び (8.2.11) による。

無収縮モルタル

- 改修標準仕様書 (8.2.11) (a) による
- ( )

グラウト材

- 改修標準仕様書 (8.2.11) (b) による。

増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法

部位	処理方法	備考
増設壁の上部	グラウト材を注入	寸法は図示による
( )	( )	( )
( )	( )	( )

現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等)

2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)

**8の8 耐震改修工事**

**柱補強工事**

(連続繊維補強工事)

1 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)

連続繊維による補強、補修工法

- (財) 日本建築防災協会 の評価を受けた工法とする。
- ( )

2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.23.6)

連続繊維の材料

- ( )

工法

- ( )

引張強度 (含浸硬化後)

- ( )

ヤング係数 (含浸硬化後)

- ( )

3 連続繊維シートの施工準備 (8.23.7) (8.24.5)

仕上げモルタルの除去

- 既存構造体面まで除去する
- モルタル除去は行わない
- ( )

既存モルタルの圧縮強度測定

- 行う ( )
- 行わない

ひび割れ部の改修工法

- 樹脂注入工法
- Uカットシーリング材充填工法
- シーリング工法

4 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)

柱頭柱脚の隙間寸法

- 図示 (図面番号: )

5 耐震補強後の仕上げ (8.23.7) (8.24.5)

- 図示 (図面番号: )

6 炭素繊維シートの施工

炭素繊維の目付量

- 図示 (図面番号: )
- 200g/m<sup>2</sup>
- 300g/m<sup>2</sup>
- ( )

炭素繊維シートの巻き数

- 図示 (図面番号: )
- 1巻き
- 2巻き
- ( )

7 連続繊維補強材の強度試験 (8.24.4)

引張強度試験

- 実施する (JIS A1191 に準拠する)
- 試験数量 ( )
- 実施しない

**8の9 耐震補強工事**

**スリット新設工事**

**免震改修工事**

(耐震スリット新設工事)

1 スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)

付着強度試験

- 実施する (JIS A6909 に準拠する)
- 試験数量 ( )
- 実施しない

耐震スリットの種類及び形状

完全スリットの形状

記号	一般型		一面せん断型	
	形状	幅W (mm)	形状	幅W (mm)
	図示 (図面番号: )	( )	図示 (図面番号: )	( )
	図示 (図面番号: )	( )	図示 (図面番号: )	( )
既存鉄筋の処理	既存鉄筋はつり出し		切断してよい	
	( )		( )	

部分スリットの形状

記号	片側スリット		両面スリット	
	形状	幅W (mm)	形状	幅W (mm)
	図示 (図面番号: )	( )	図示 (図面番号: )	( )
	図示 (図面番号: )	( )	図示 (図面番号: )	( )
目地部の残存厚さ	壁厚の1/2以下かつ70mm以下		壁厚の1/2以下かつ70mm以下	
t <sub>s</sub> (mm)	( )		( )	
既存鉄筋の処理	存置する		存置する	
	既存鉄筋はつり出し		切断してよい	
	( )		( )	

2 スリットの施工 (8.26.1) ~ (8.26.17)

スリット部の配管等の調査

範囲

- スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
- 図示 (図面番号: )
- ( )

方法

- 鉄筋探知機 (金属探知器) により調査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

スリットの選択位置

壁上部部

- 梁との接合部 ( )

壁の接ぎわ部

- 柱の仕上げを逃がしたきわ部 ( )

壁下部部

- 床仕上げ上部
- 床体上部 ( )

撤去部の補修

- 図示 (図面番号: )

充填材

- 耐火材 使用箇所 ( ) 仕様 ( )
- 遮音材 使用箇所 ( ) 仕様 ( )

免震改修、制震改修に関する仕様は、図示する。

**8の10 その他工事**

1 基礎工事 (8.28.2) (8.28.3)

既存杭の撤去

- 図示 (図面番号: )

埋戻し及び盛土の材料及び工法

- A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種

建設発生土の処理

- 自由処分
- 処分地指定 処分地 ( )
- 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km

山留めの撤去

- 撤去
- 存置

2 地業工事 (8.28.4)

杭の施工監理

杭工事特記仕様書による。

適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。

国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日)

施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その日に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

試験杭及び試験

- 試験杭 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号: ) による。
- 試験掘 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号: ) による。

杭の支持地盤

支持地盤の位置、種類 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

水平方向のずれ ( ) mm以下

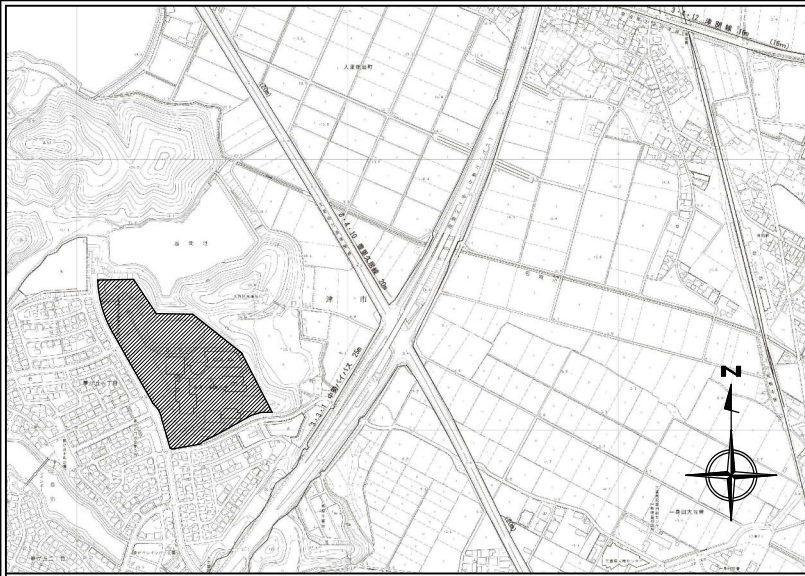
杭の載荷試験

試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ( )

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。

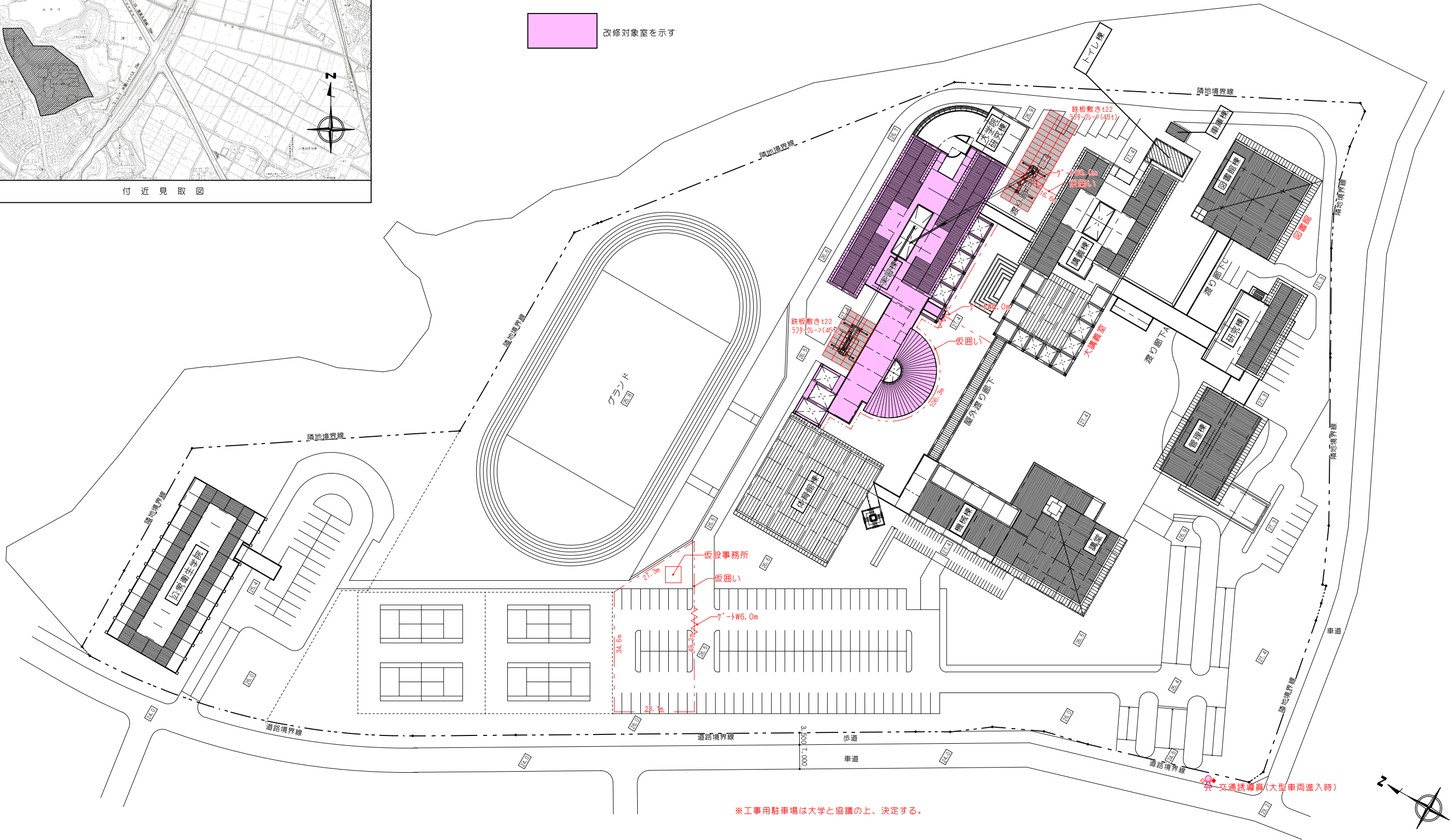
位置 ・ 図示 (図面番号: ) 載荷荷重 ( ) kN

報告書 ・ 提出部数 2部



付近見取図

改修対象面を示す



※工事用駐車場は大学と協議の上、決定する。

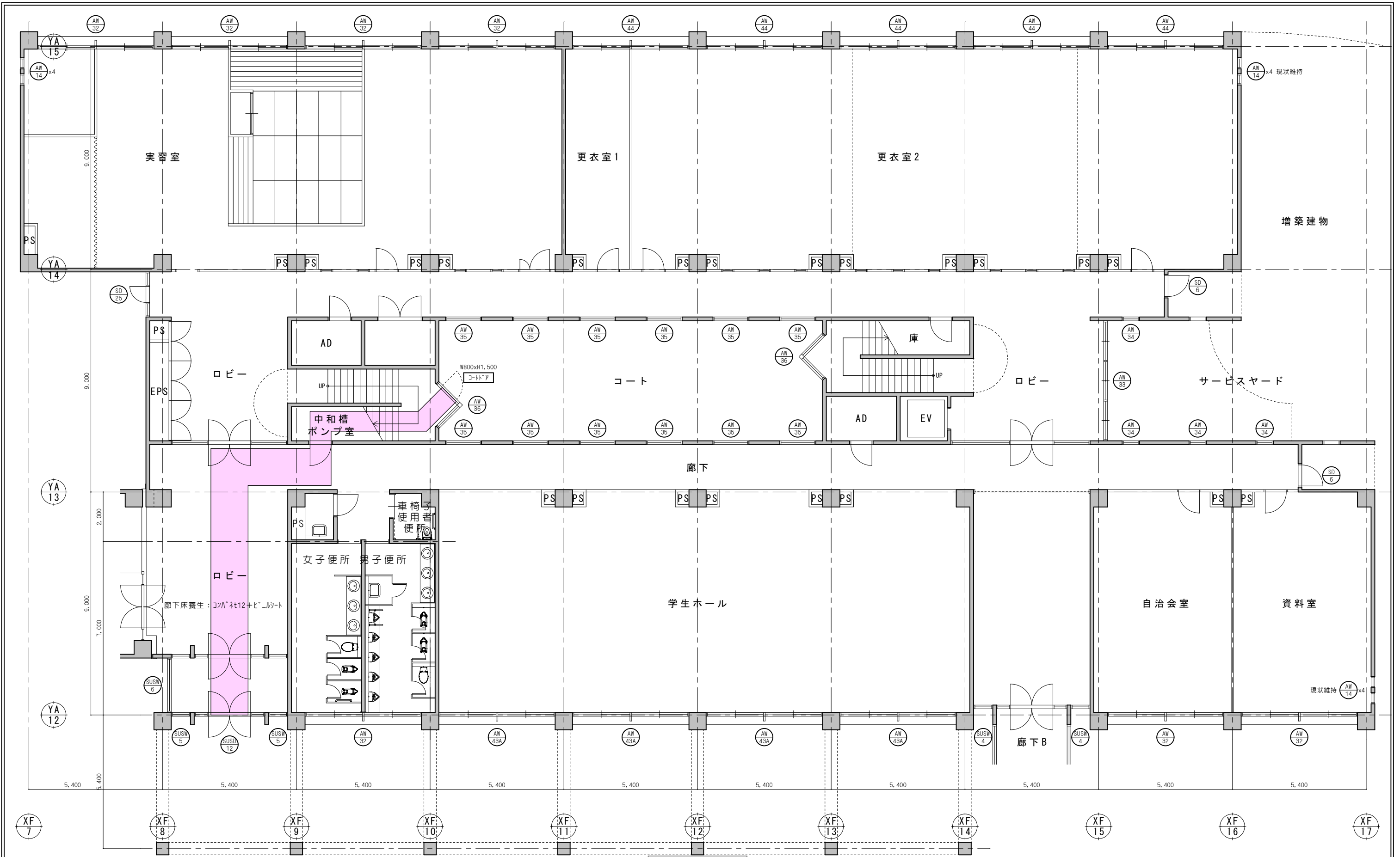
交通誘導員(大型車両進入時)

備	
考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawings Title	配置図	SCALE	A2:1/800 A3:1/1120
	設計担当者		
			A-07



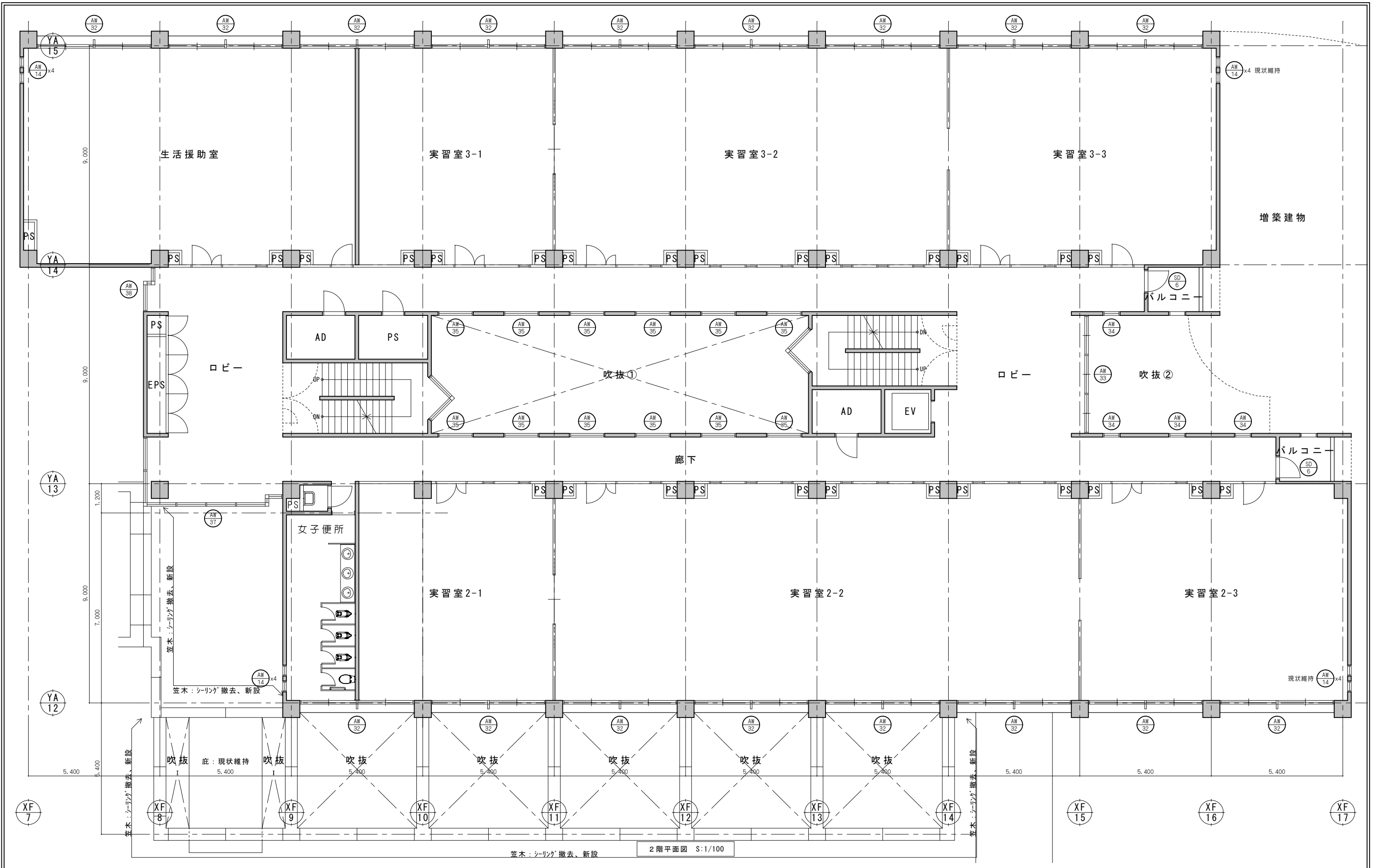


1階平面図 S:1/100

備		公益財団法人 三重県建設技術センター
考		

公益財団法人  
三重県建設技術センター

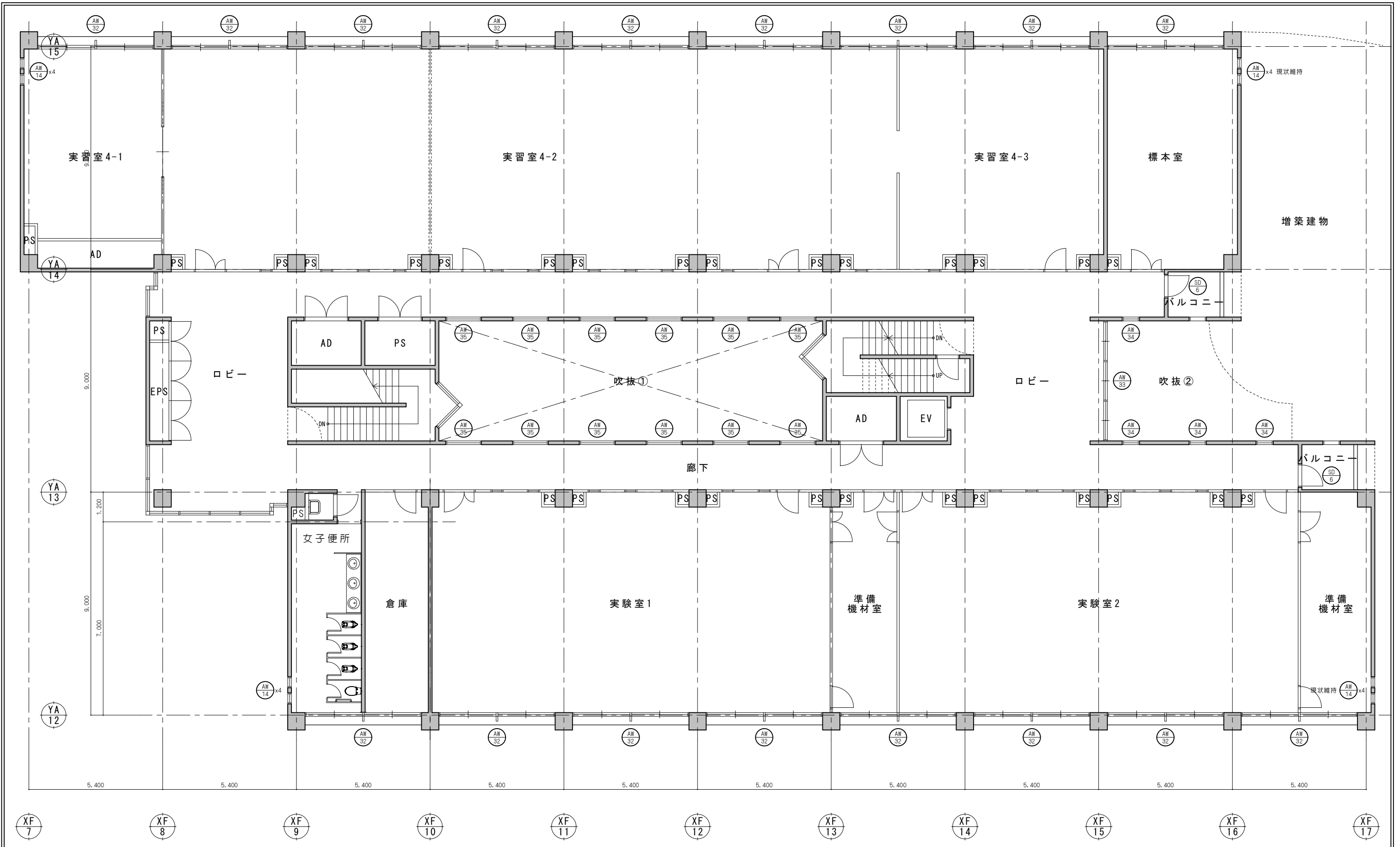
Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawing Title	実習棟1階 平面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
	設計担当		
			A-08



備	
考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawings Title	実習棟 2階 平面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A-09

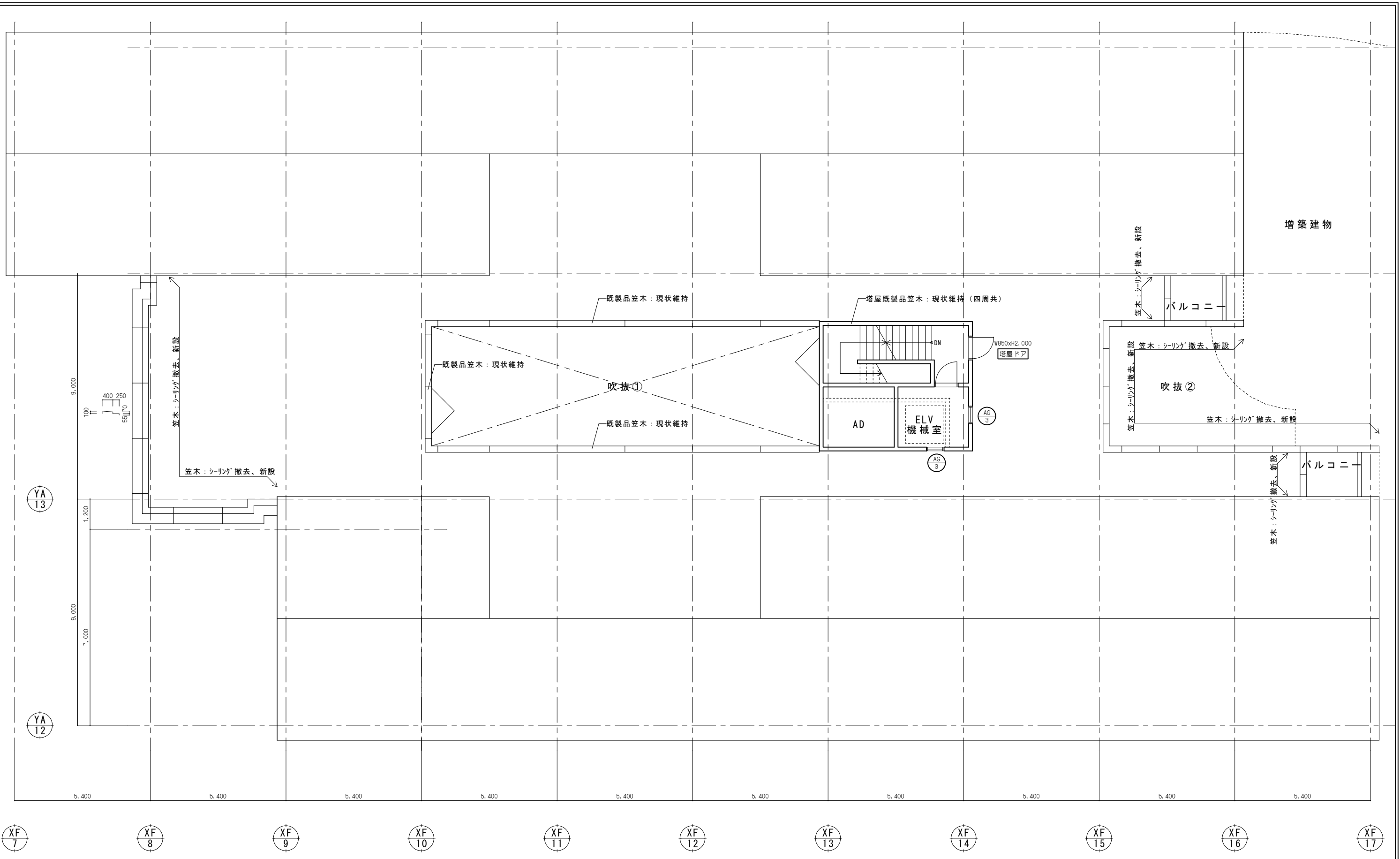


3階平面図 S:1/100

備	
考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawings Title	実習棟3階 平面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A-10

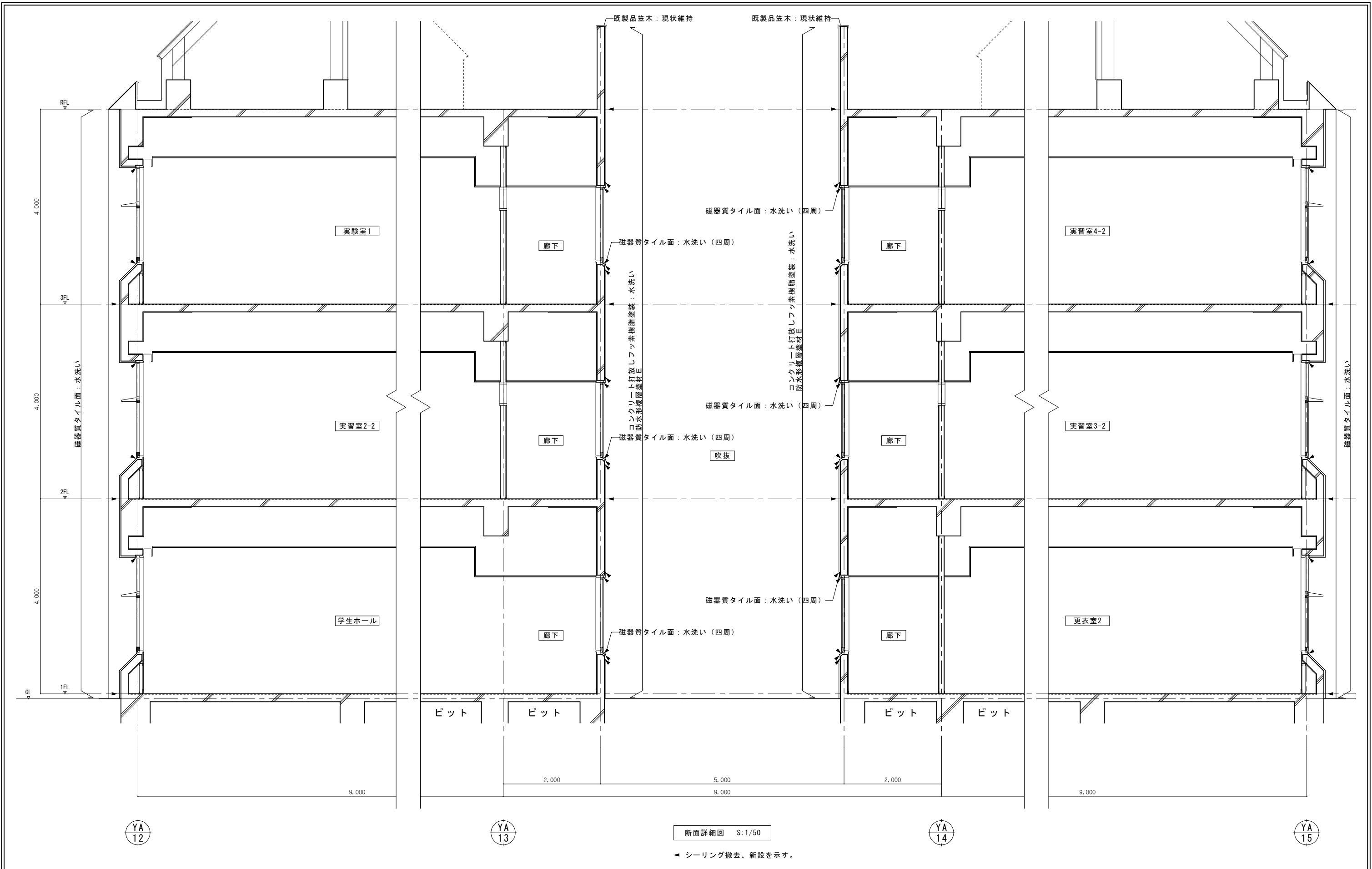


塔屋平面図 S:1/100

備 考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawings Title	実習棟塔屋 塔屋平面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A-11



備 考	

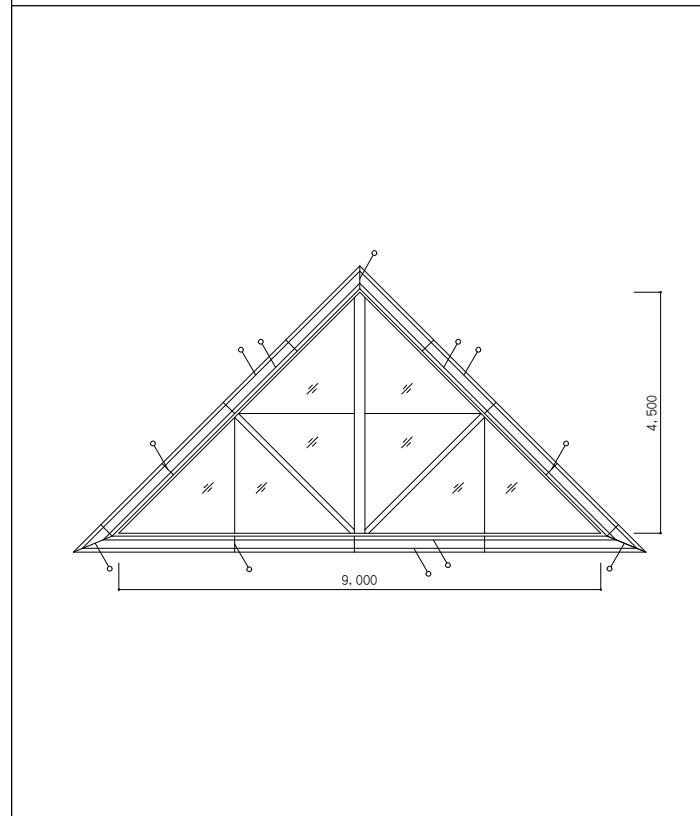
公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawing Title	実習棟 断面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A - 12

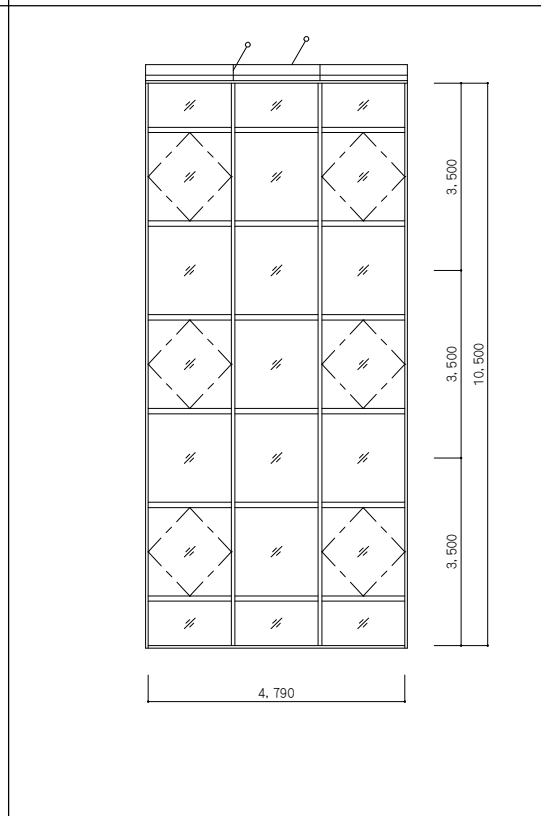
建具表				
符号	数量	形式	寸法	改修内容
SUSW-4	2	FIX窓	770x2400	サッシ廻り：シーリングMS-2 15x10撤去、新設 SD-6, 25, 塔屋ドア, コート7：DP塗装
SUSW-5	2	FIX窓	770x2400	
SUSW-6	1	FIX窓	2600x2600	
SUSD-12	1	FIX窓付両開き戸	2720x2000 (600)	
SD-6	6	片開き扉ドア	850x2000 (400)	
SD-25	1	FIX窓付片開き扉ドア	1743x2000 (400)	
AW-14	44	FIX窓 (24ヶ所は、現状維持)	350x350	
AW-15	4	FIX窓	図示	
AW-32	41	2連FIX窓付引違い窓	4600x1900	
AW-33	1	縦軸回転窓付FIX窓	4790x10500	
AW-34	12	縦軸回転窓	600x600	
AW-35	36	引違い窓	1350x1475	
AW-36	2	FIX窓	2300x10000	
AW-37	1	縦軸回転窓付FIX窓	9142x6100	
AW-38	1	縦軸回転窓付FIX窓	2298x6100	
AW-43A	4	2連FIX窓付引違い窓	4600x2550	
AW-44	5	突き出し窓付ガラスブロック窓	4600x1900	
AG-3	2	アルミガラリ	600x600	
塔屋ドア	1	片開きドア	850x2000	
コート7	1	片開きドア	800x1500	

仕上表	
外壁	磁器質タイル面：水洗い、伸縮目地シーリングPS-2 15x10撤去、新設 (浮き部：カッター入れ撤去の上、新設) (ひび割れ部：カッター入れ下地モルタル共撤去、自動式低圧エポキシ樹脂注入の上、新設) (エフロレッセンス部：カッター入れ下地モルタル共撤去、新設) コンクリート打放しフッ素樹脂塗装面：水洗い・防水形複層塗材E (セメント系下地調整塗材C-1)、伸縮目地シーリングPS-2 15x10撤去、新設 (ひび割れ部：自動式低圧エポキシ樹脂注入の上、塗装) (一般部：下地処理の上、塗装)
外部建具	サッシ廻り：シーリングMS-2 15x10撤去、新設
ロビー外部庇	現状維持
アルミ笠木	タイル取合い・継手：シーリングMS-2 15x10撤去、新設
既製品笠木	現状維持
鋼製建具	DP塗装 下地調整R6種、錆止めC種 内外・枠共

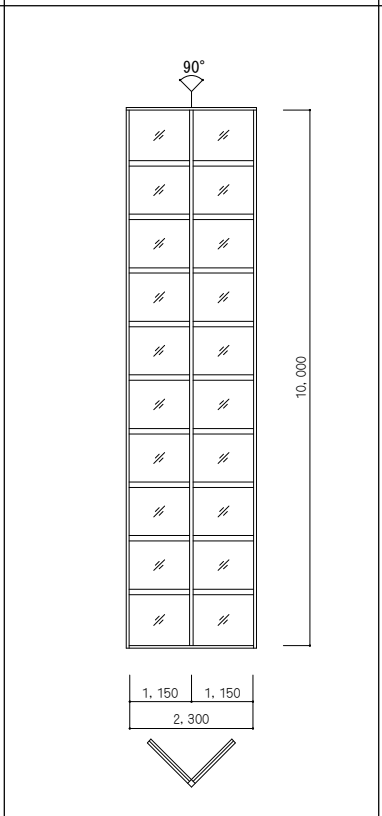
AW-15 姿図 1/100



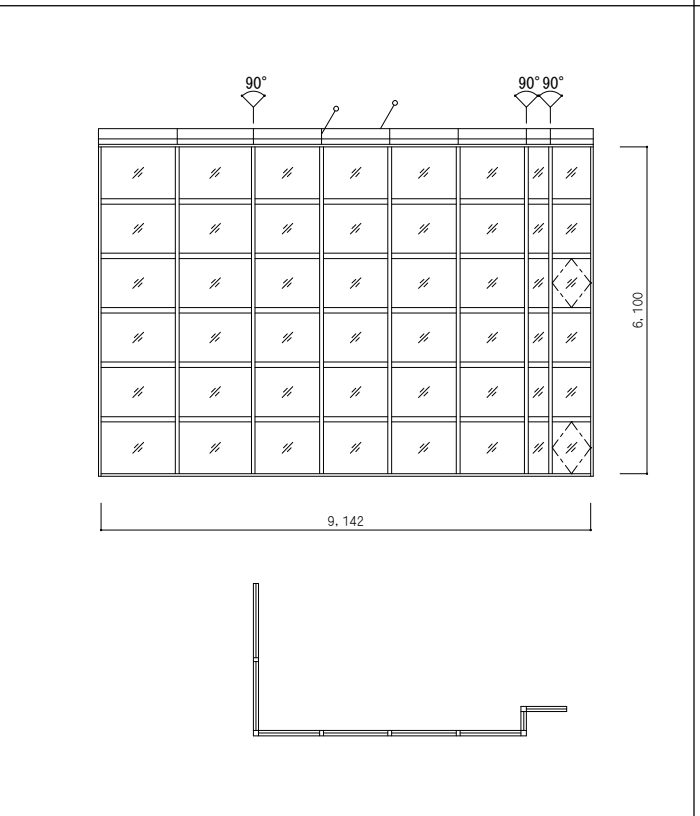
AW-33 姿図 1/100



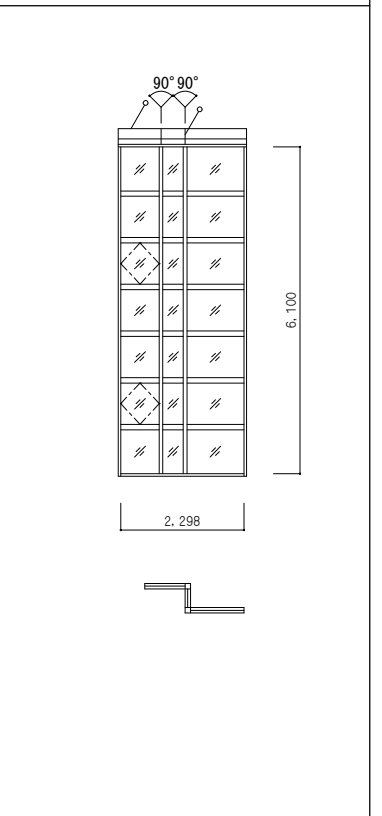
AW-36 姿図 1/100



AW-37 姿図 1/100



AW-38 姿図 1/100



◊ パネル取合いシーリング：既設撤去、新設  
 ※ ガラスシーリング：既設撤去、新設 (外部のみ)  
 サッシ廻りシーリング：既設撤去、新設

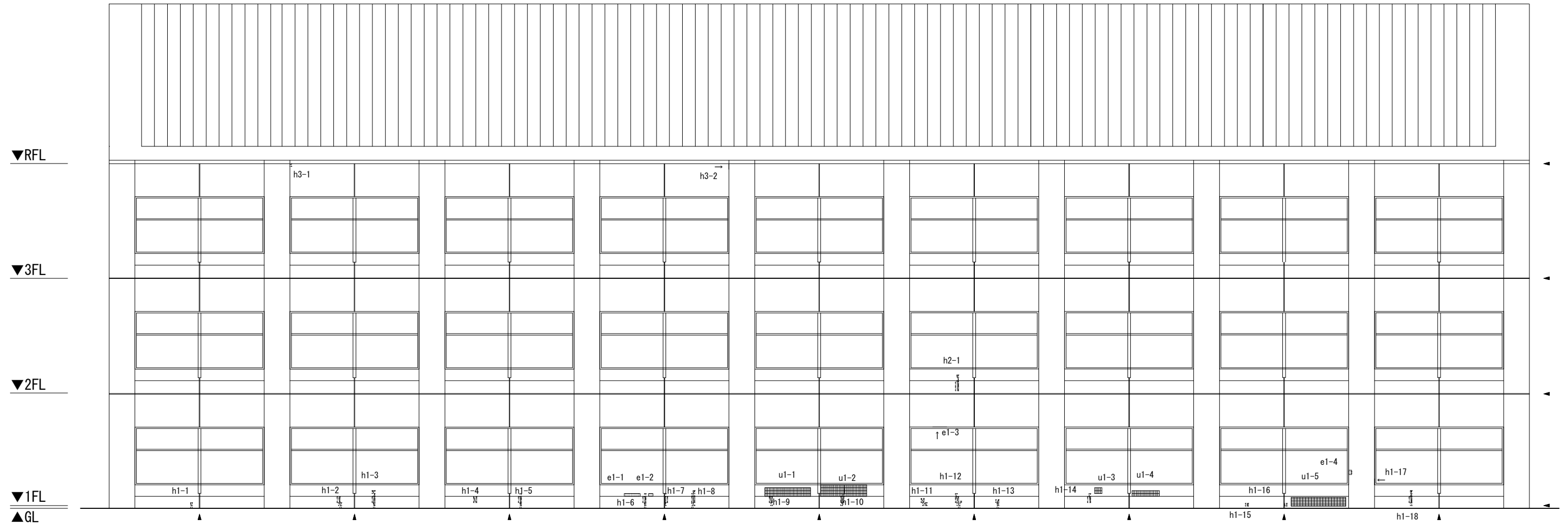
備 考	

公益財団法人  
 三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事
Drawing Title	実習棟 仕上表、建具表
設計担当者	
DATE	2021 - 06
SCALE	A2:1/100 A3:1/141

# 北立面図

◀:シーリング位置を示す。



備 考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事
Drawings Title	実習棟 立面図 1
設計担当者	

DATE	2021 - 06
SCALE	A2:1/100 A3:1/141
	A - 14

実習棟 北面												
		100x50	100x50 (タリツク)	100x50 (山形)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	(50+50)x100 (90° 屏風)	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)	
浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	★ u1-1			64			32		3.9	0.5600		
	★ u1-2			96			32		4.1	0.7200		
	u1-3			10					0.9	0.0500		
	u1-4			19			19		2.4	0.2375		
	★ u1-5	114							4.4	0.5700		
	合計			29			19		3.3	0.2875		
	★ 合計	114		160			64		12.4	1.8500		
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1			2					0.5	0.0100	0.10	
	h1-2	4		3					1.1	0.0350	0.30	
	h1-3	4		4			1		1.6	0.0475	0.57	
	h1-4	4							0.6	0.0200	0.15	
	h1-5	4		2			1		1.3	0.0375	0.34	
	h1-6	4		2			1		1.3	0.0375	0.34	
	h1-7	4		1			1		1.1	0.0325	0.29	
	h1-8	4		4			2		1.5	0.0550	0.55	
	h1-9	4		1					0.7	0.0250	0.24	
	h1-10	4		1					0.7	0.0250	0.70	
	h1-11	3		3					0.9	0.0300	0.26	
	h1-12	5		3			1		1.5	0.0475	0.40	
	h1-13	2		2					0.8	0.0200	0.20	
	h1-14	4					1		0.9	0.0275	0.24	
	h1-15	2							0.4	0.0100	0.10	
	h1-16	2							0.4	0.0100	0.08	
	h1-17	2							0.5	0.0100	0.16	
	h1-18	4		2			1		1.3	0.0375	0.44	
	h2-1	6		1			1		1.3	0.0425	0.56	
h3-1		1						0.25	0.0050	0.05		
h3-2		1					1	0.35	0.0150	0.10		
合計	66	2	31			10	1	19.0	0.5800	6.17		
エフロレンセス部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル共)	e1-1						11		1.4	0.0825		
	e1-2						3		0.6	0.0225		
	e1-3				10				0.45	0.0250		
	e1-4					3			0.6	0.0225		
	合計				10	3	14		3.05	0.1525		

備 考	

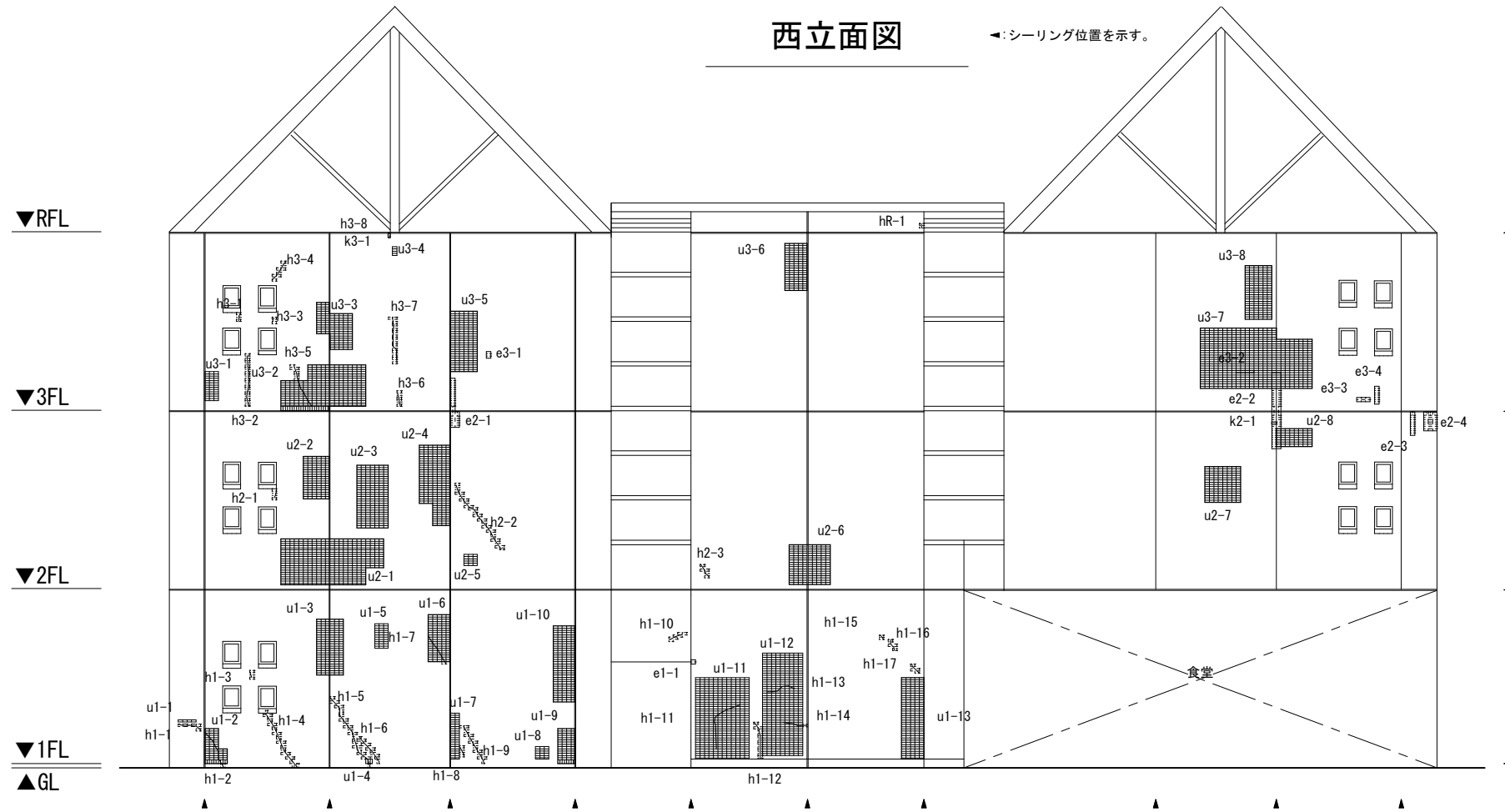
公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawing Title	実習棟 立面図 2	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
		A - 15	



# 西立面図

◀:シーリング位置を示す。



備 考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事
Drawings Title	実習棟 立面図 3
	設計担当者

DATE	2021 - 06
SCALE	A2:1/100 A3:1/141
	A - 16

実習棟 西面

※ ()内は重複面積を含んだ面積。

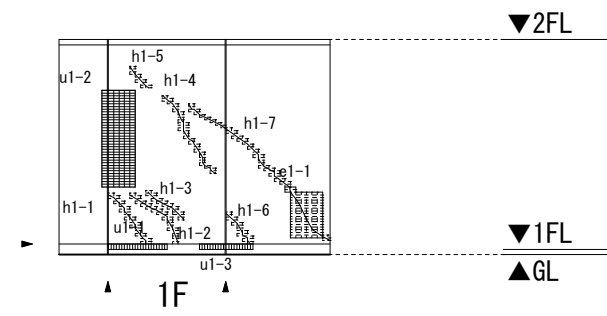
		100x50	100x50 (メリッパ)	100x50 (山形)	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		100x50	100x50 (メリッパ)	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	(50+50)x100 (90° 屏風)	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		100x50	100x50 (メリッパ)	100x50 (山形)	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		
浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	u1-1	4					0.9	0.0200		★ u2-1	451					6.7	2.2550		u3-1	39						1.9	0.1950		
	★ u1-2	52		10			2.5	0.3100		★ u2-2	114					3.1	0.5700		★ u3-2	319	22					5.8	1.7050		
	★ u1-3	150					3.7	0.7500		★ u2-3	196					4.2	0.9800		★ u3-3	122						3.7	0.6100		
	u1-4			3			0.35	0.0150		★ u2-4	222					5.0	1.1100		u3-4	4						0.6	0.0200		
	u1-5	33					1.7	0.1650		u2-5	15					1.1	0.0750		★ u3-5	162						3.9	0.8100		
	★ u1-6	105					3.0	0.5250		★ u2-6	162					3.6	0.8100		★ u3-6	105						3.1	0.5250		
	u1-7	42					2.2	0.2100		★ u2-7	128					3.2	0.6400		★ u3-7	635						7.5	3.1750		
	u1-8	18					1.2	0.0900		★ u2-8	64					1.8	0.3200		★ u3-8	144						3.6	0.7200		
	★ u1-9	56		8			2.4	0.3200																					
	★ u1-10	170					4.4	0.8500																					
	★ u1-11	444					6.1	2.2200																					
	★ u1-12	414					5.7	2.0700																					
	★ u1-13	185					4.7	0.9250																					
	合計	97		3			6.35	0.5000		合計	15					1.1	0.0750		合計	43							2.5	0.2150	
	★ 合計	1576		18			32.5	7.9700		★ 合計	1337					27.6	6.6850		★ 合計	1487	22						27.6	7.5450	
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1	7					1.3	0.0350	0.54	h2-1	5					0.7	0.0250	0.21	h3-1	4						0.6	0.0200	0.21	
	h1-2			2			0.3	0.0100	0.92	h2-2	40					5.2	0.2000	1.78	h3-2	24						2.6	0.1200	1.16	
	h1-3	4					0.6	0.0200	0.11	h2-3	7					1.0	0.0350	0.32	h3-3	3						0.5	0.0150	0.1	
	h1-4	26		5		1	4.3	0.1625	1.44										h3-4	11						1.5	0.0550	0.49	
	h1-5	36		1			4.65	0.1850	1.89										h3-5	8						1.0	0.0400	0.98	
	h1-6	14		1			2.1	0.0750	0.70										h3-6	7						0.9	0.0350	0.3	
	h1-7	1					0.2	0.0050	0.74										h3-7	22						2.5	0.1100	1.03	
	h1-8	5					0.45	0.0250	0.19										h3-8									0.05	
	h1-9	20		1			2.85	0.1050	0.96																				
	h1-10	7					1.2	0.0350	0.30										hR-1	2						0.3	0.0100	0.09	
	h1-11								1.34																				
	h1-12	18					14.5	0.0900	0.86																				
	h1-13								0.67																				
	h1-14	1					0.25	0.0050	0.55																				
	h1-15	2					0.4	0.0100	0.12																				
	h1-16	6					0.9	0.0300	0.28																				
	h1-17	5					0.8	0.0250	0.26																				
	合計	152		10		1	34.8	0.8175	11.87	合計	52					6.9	0.2600	2.31	合計	81							9.9	0.4050	4.41
エフロレッセンス部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル共)	e1-1	1			1		0.45	0.0125		e2-1	23	6				2.6	0.1450		e3-1	3						0.5	0.0150		
										e2-2	38	8				2.5	0.2300 (0.3400)		e3-2								(0.0200)		
										e2-3	9	2				1.3	0.0550		e3-3	6						0.8	0.0300		
										e2-4	14	5	7		1	1.6	0.1575		e3-4	8						1.0	0.0400		
	合計	1			1		0.45	0.0125		合計	84	21	7		1	8.0	0.5875		合計	17						2.3	0.0850		
破損部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)										k2-1							(0.0050)		k3-1		1					0.25	0.0050		
																			合計			1				0.25	0.0050		

備 考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

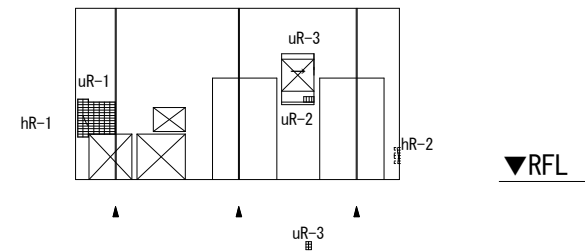
Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawings Title	実習棟 立面図 4	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
	設計担当者		
			A-17

YA14通り1階南立面図

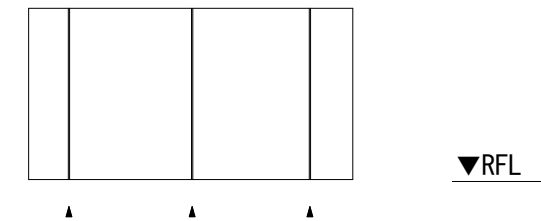


塔屋南立面図

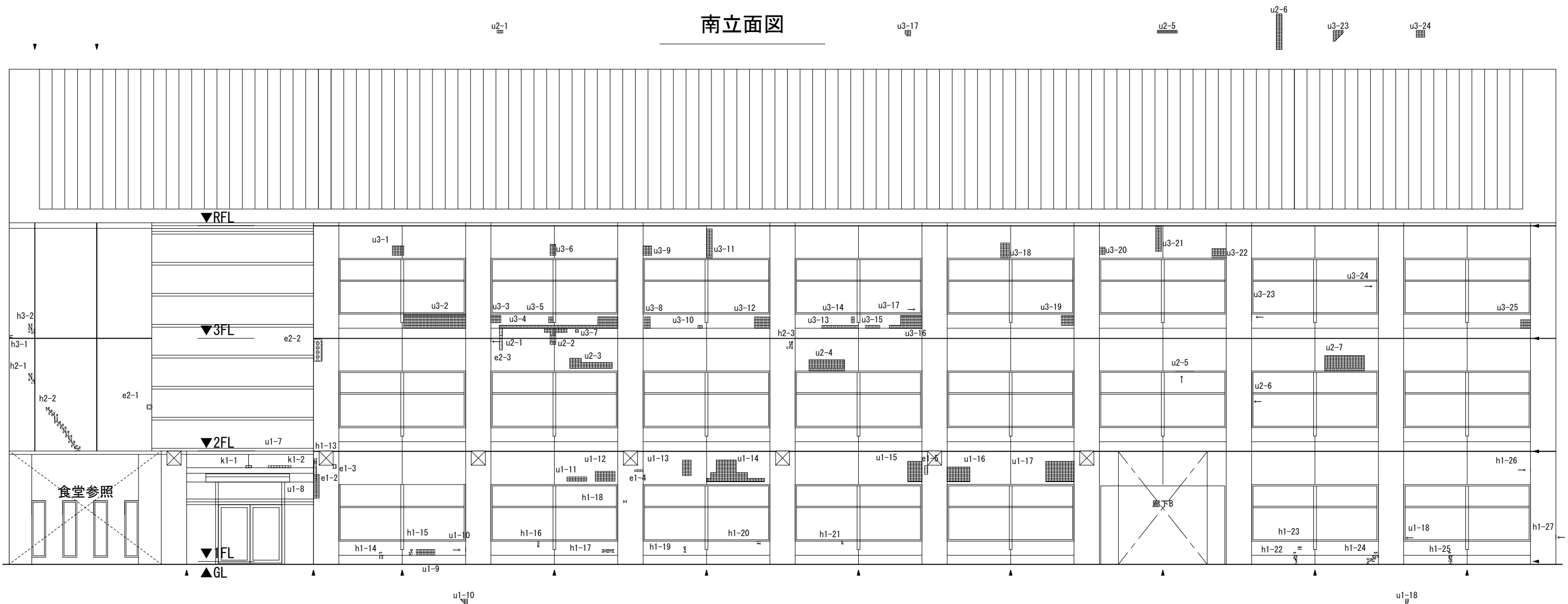
←:シーリング位置を示す。



塔屋北立面図



南立面図



備 考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawings Title	実習棟 立面図 5	SCALE	A2: 1/100 A3: 1/141
設計担当者			
			A - 18

実習棟 南面

浮き部分  
磁器質タイル撤去、新設  
(★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)

	100x50	100x50 (山形)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		100x50	100x50 (タリタケ)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (90° 曲山形)	(50+50)x100 (90° 屏風)	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		100x50	100x50 (タリタケ)	100x50 (山形)	50x50	50x50 (山形)	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (90° 曲山形)	(100+50)x50 (窓台(山形))	(50+50)x100 (90° 屏風)	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
u1-1		22				2.2	0.1100		u2-1		4					0.6	0.0200		u3-1	28									1.5	0.1400	
★ u1-2	216					4.8	1.0800		u2-2	32	8					2.7	0.2000		★ u3-2			132		88			44		5.5	1.2100	
u1-3		20				2.1	0.1000		★ u2-3	72						3.7	0.3600		u3-3			14		7					1.2	0.0875	
u1-4									★ u2-4	78				26		3.5	0.5850		★ u3-4			42				84		8.4	0.8400		
u1-5									u2-5			14		14		1.8	0.1400		u3-5			6						0.7	0.0300		
u1-6									★ u2-6	50						2.9	0.2500		u3-6	16								1.2	0.0800		
u1-7	8					1.8	0.0400		★ u2-7	126				28		4.0	0.8400		u3-7	2								0.4	0.0100		
u1-8	22			12		2.1	0.2000												u3-8			12				4		1.3	0.0900		
u1-9		13			13	1.8	0.1625												u3-9	21								1.3	0.1050		
u1-10	9					0.9	0.0450												u3-10							3		0.6	0.0225		
u1-11	21					1.7	0.1050												u3-11	38						4		2.6	0.2200		
u1-12	49					2.1	0.2450												u3-12			33				11		1.9	0.2475		
u1-13	33					1.7	0.1650												u3-13							26		2.9	0.1950		
★ u1-14	178					5.8	0.8900												u3-14			4						0.6	0.0200		
★ u1-15	75					2.5	0.3750												u3-15							10		1.3	0.0750		
★ u1-16	88					2.7	0.4400												★ u3-16			45		15		23		3.3	0.4350		
★ u1-17	150					3.5	0.7500												u3-17	8								0.8	0.0400		
u1-18	3					0.5	0.0150												u3-18	27						6		1.8	0.1800		
																			u3-19			27		9				1.6	0.1575		
																			u3-20	10								0.9	0.0500		
																			u3-21	32	4							2.0	0.1800		
																			u3-22	25					10			1.8	0.2000		
																			u3-23	14								1.1	0.0700		
																			u3-24	24								1.0	0.1200		
																			u3-25			14				7		1.4	0.1225		
																			★ uR-1	88								2.8	0.4400		
																			uR-2							4		0.7	0.0300		
																			uR-3				3		3			0.7	0.0300		
合計	145	55		12	13	16.9	1.1875		合計	32	12	14		14		5.1	0.3600		合計	245	4	110	3	16	3	20	65	31.3	2.5025		
★ 合計	707					19.3	3.5350		★ 合計	326				54		14.1	2.0350		★ 合計	88		219		103		151		20.0	2.9250		

備 考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawing Title	実習棟 立面図 6	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A - 19

実習棟 南面

※〇内は重複面積を含んだ面積。

ひび割れ部分  
磁器質タイル撤去、新設  
(下地モルタル撤去後自動式低圧エポキシ樹脂注入)

Table with columns for tile types (100x50, 50x50, etc.), dimensions, and areas. It lists various items (h1-1 to h1-27) and their respective measurements and areas.

エフロレッセンス部分  
磁器質タイル撤去、新設  
(下地モルタル共)

Table with columns for tile types and dimensions, listing items (e1-1 to e1-5) and their measurements and areas.

破損部分  
磁器質タイル撤去、新設  
(★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)

Table with columns for tile types and dimensions, listing items (k1-1 to k1-2) and their measurements and areas.

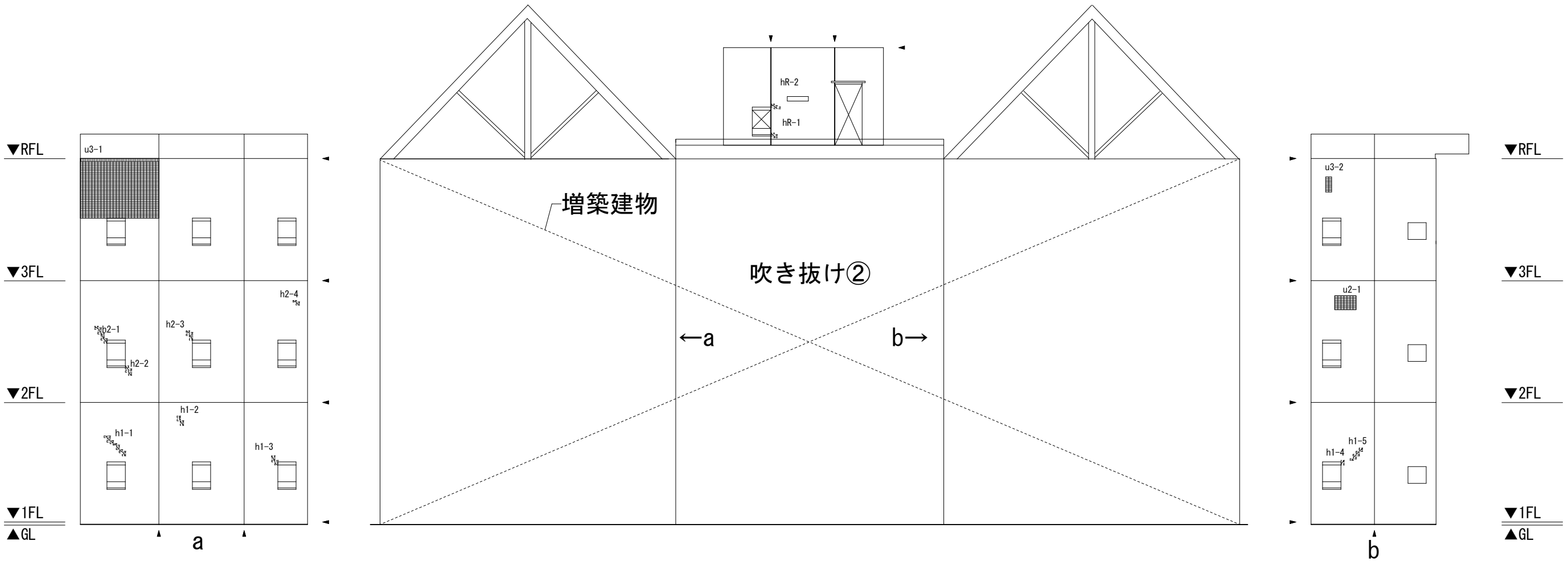
Table with columns for drawing details, including a title block and a grid for revision or scale information.

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Table with columns for drawing metadata, including Job Title, Date (2021-06), Scale (A2:1/100 A3:1/141), and Page Number (A-20).

### 東立面図

←:シーリング位置を示す。



実習棟 東面									
		100x50	100x50 (タリツク)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
ひび割れ部分	hR-1	3			1		0.8	0.0225	0.20
磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後)	hR-2	5					0.9	0.0250	0.25
自動式低圧エポキシ樹脂注入)	合計	8			1		1.7	0.0475	0.45

実習棟 吹き抜け②

		100x50	100x50 (タリツク)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		100x50	100x50 (タリツク)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		100x50	100x50 (タリツク)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		
浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	★ u2-1										63										★ u3-1	962	52					9.1	5.0700
	u3-2																				u3-2	20						1.4	0.1000
	合計											63									合計	982	52					10.5	5.1700
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後) 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1	16					2.7	0.0800	0.92	h2-1	14						1.9	0.0700	0.69										
	h1-2	6					1.0	0.0300	0.33	h2-2	8						1.0	0.0400	0.36										
	h1-3	7					1.0	0.0350	0.36	h2-3	8						1.0	0.0400	0.39										
	h1-4	3					0.5	0.0150	0.18	h2-4	3						0.7	0.0150	0.24										
	h1-5	9					1.6	0.0450	0.56																				
	合計	41						6.8	0.2050	2.35	合計	33						4.6	0.1650	1.68									

備 考		

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawing Title	実習棟 立面図 8	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A-21

### 吹き抜け①北面

◀:シーリング位置を示す。

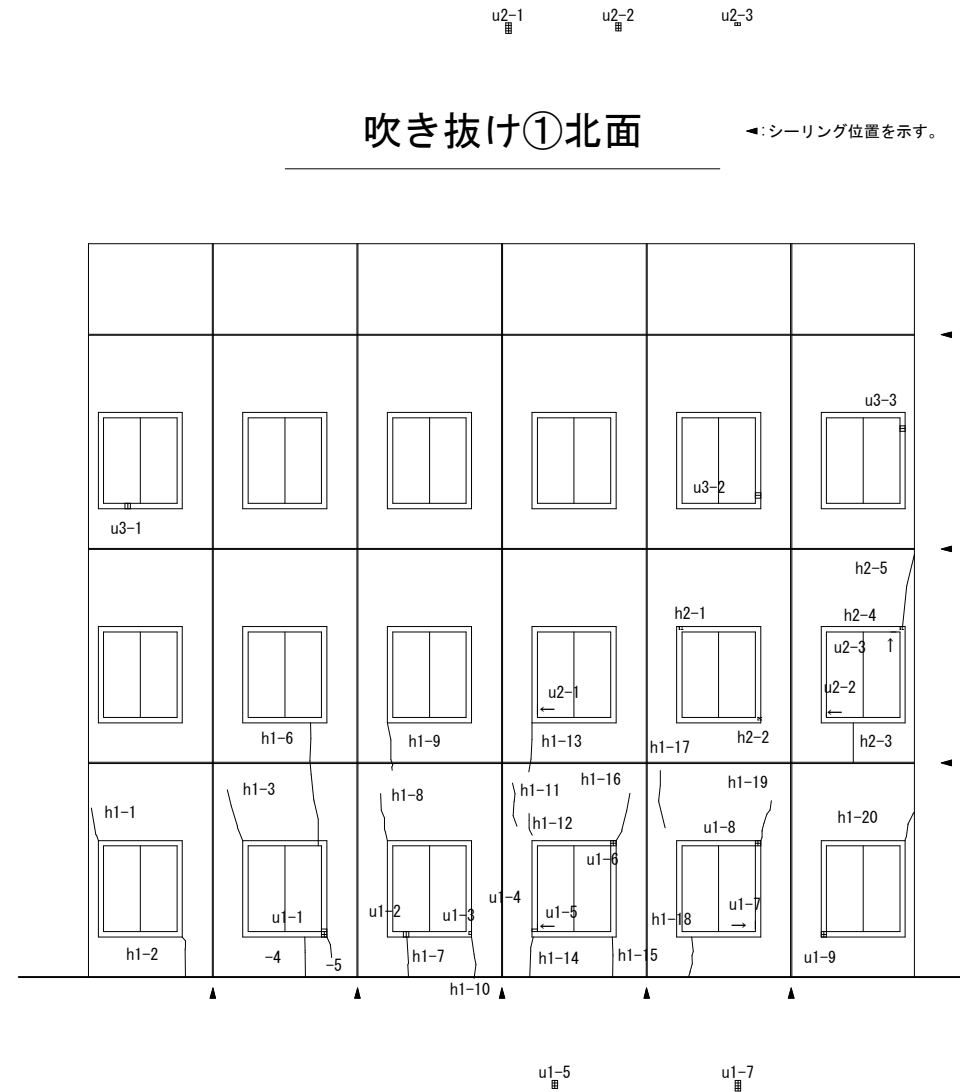
▼RFL

▼3FL

▼2FL

▼1FL

▲GL



### 実習棟 吹き抜け① 北面

		100x50	100x50 (タリタ)	50x50	50x50 (タリタ)	(100+50)x50 (90° 曲タリタ)	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	u1-1				4	1	0.6	0.0175	
	u1-2		2				0.3	0.0100	
	u1-3				1		0.2	0.0025	
	u1-4					1	0.25	0.0075	
	u1-5				3	3	0.4	0.0300	
	u1-6				4		0.4	0.0100	
	u1-7				4	4	0.6	0.0400	
	u1-8				4		0.4	0.0100	
	u1-9				4		0.4	0.0100	
	u2-1				4	4	0.6	0.0400	
u2-2				3	3	0.55	0.0300		
u2-3					2	0.5	0.0150		
u3-1		2				0.3	0.0100		
u3-2					2	0.5	0.0150		
u3-3					2	0.5	0.0150		
合計		4		31	22	6.5	0.2625		
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h2-1				1		0.2	0.0025	0.04
	h2-2				1		0.2	0.0025	0.05
	h2-4				1		0.2	0.0025	0.05
	合計				3		0.6	0.0075	0.14
ひび割れ部分 (自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1								0.62
	h1-2								0.76
	h1-3								0.99
	h1-4								0.75
	h1-5								0.39
	h1-6								2.31
	h1-7								0.75
	h1-8								0.89
	h1-9								0.90
	h1-10								0.77
	h1-11								0.82
	h1-12								0.41
	h1-13								0.91
	h1-14								0.75
	h1-15								0.75
	h1-16								0.92
	h1-17								1.08
	h1-18								0.76
	h1-19								0.78
	h1-20								0.57
h2-3								0.74	
h2-5								1.36	
合計								18.98	

備  
考

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title 三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事

DATE

2021 - 06

Drawings Title 実習棟 立面図 9

SCALE

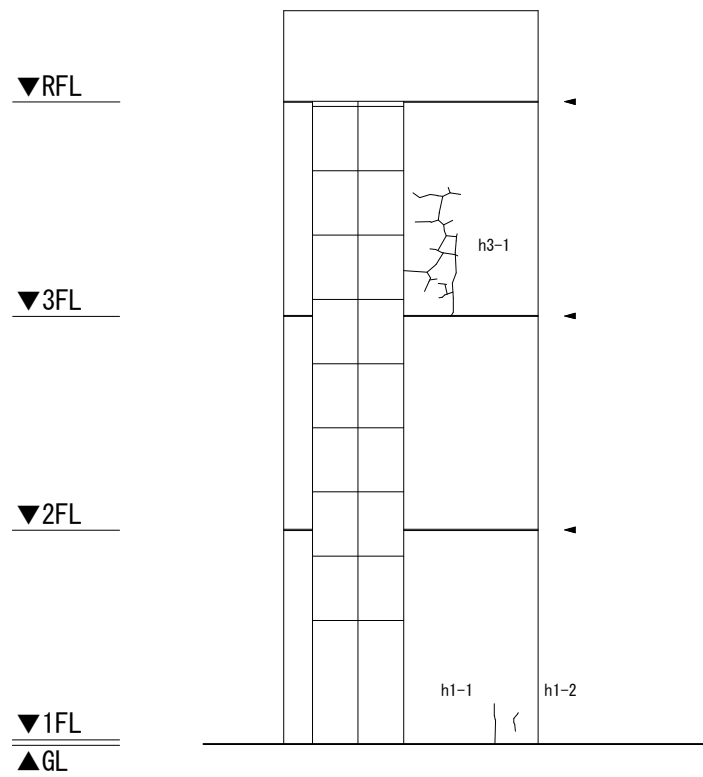
A2:1/100 A3:1/141

設計担当者

A-22

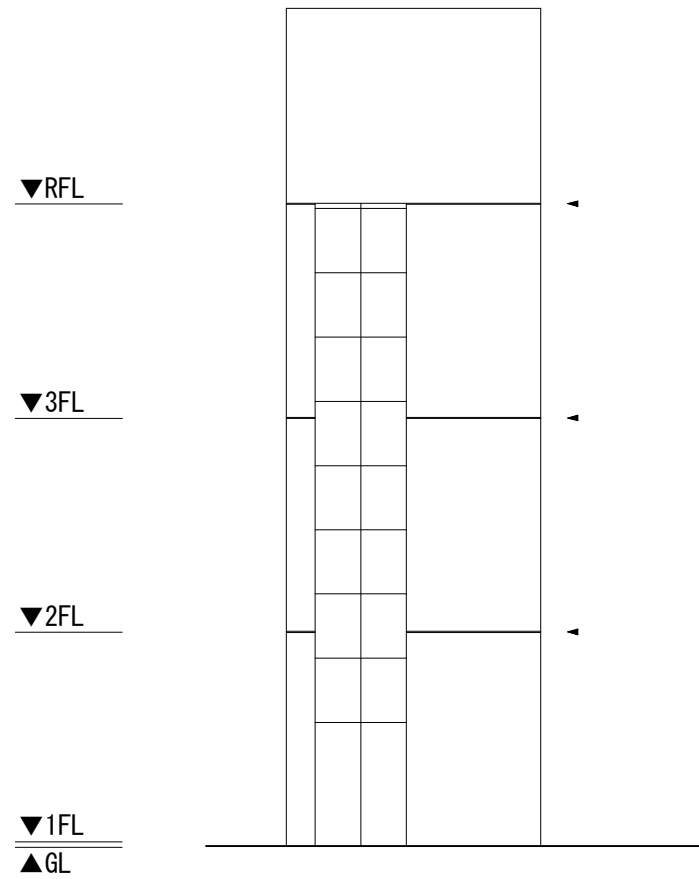
吹き抜け①西面

◀:シーリング位置を示す。



吹き抜け①東面

◀:シーリング位置を示す。



実習棟 吹き抜け① 西面									
		100x50	100x50 (メトリック)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
ひび割れ部分 (自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1								0.76
	h1-2								0.37
	h3-1								7.19
	合計								8.32

備 考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事
Drawing Title	実習棟 立面図10
設計担当者	

DATE	2021 - 06
SCALE	A2:1/100 A3:1/141
	A - 23



### 吹き抜け①南面

◀:シーリング位置を示す。

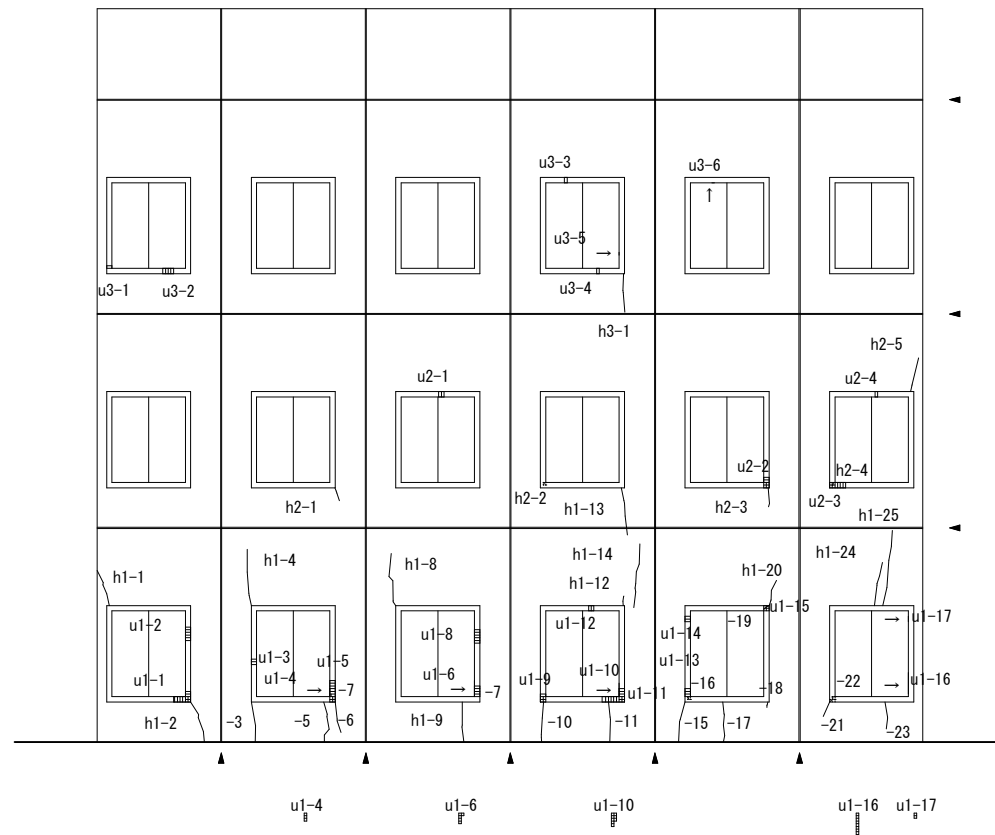
▼RFL

▼3FL

▼2FL

▼1FL

▲GL



### 実習棟 吹き抜け① 南面

		実習棟 吹き抜け① 南面						実習棟 吹き抜け① 南面					
		100x50 (タリック)	50x50 (タリック)	(100+50)x50 (90° 曲タリック)	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)	100x50 (タリック)	50x50 (タリック)	(100+50)x50 (90° 曲タリック)	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	u1-1	5	4	2	0.95	0.0500	u2-1			2	0.5	0.0150	
	u1-2			5	0.8	0.0375	u2-2		4	2	0.7	0.0250	
	u1-3			2	0.5	0.0150	u2-3	4	4		0.6	0.0300	
	u1-4		3		0.1	0.0075	u2-4			1	0.4	0.0075	
	u1-5		4	6	0.95	0.0550							
	u1-6		4	1	0.3	0.0175	u3-1			1	0.4	0.0075	
	u1-7			4	0.5	0.0300	u3-2	4			0.4	0.0200	
	u1-8			5	0.8	0.0375	u3-3			1	0.4	0.0075	
	u1-9		4	1	0.6	0.0175	u3-4	1			0.25	0.0050	
	u1-10		5	3	0.4	0.0350	u3-5			1	0.4	0.0075	
	u1-11	6	4	3	0.85	0.0625	u3-6		1	1	0.45	0.0100	
	u1-12			2	0.5	0.0150							
	u1-13			3	0.55	0.0225							
	u1-14			2	0.5	0.0150							
	u1-15		4		0.4	0.0100							
	u1-16		8		0.5	0.0200							
	u1-17		2		0.3	0.0050							
合計	11	42	39	9.5	0.4525	合計	9	9	9	4.5	0.1350		
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-7					0.05	h2-2		1		0.2	0.0025	0.05
	h1-16		1		0.15	0.0025	h2-4						0.06
	h1-19					0.12							
	h1-22		3		0.4	0.0075							
合計		4		0.55	0.0100	合計		1		0.2	0.0025	0.11	
ひび割れ部分 (自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1					0.70	h2-1						0.25
	h1-2					0.80	h2-3						0.35
	h1-3					0.75	h2-5						0.64
	h1-4					1.05							
	h1-5					0.79	h3-1						0.71
	h1-6					0.57							
	h1-8					1.01							
	h1-9					0.75							
	h1-10					0.75							
	h1-11					0.74							
	h1-12					0.18							
	h1-13					0.88							
	h1-14					1.20							
	h1-15					0.76							
	h1-17					0.75							
	h1-18					0.10							
	h1-20					0.50							
h1-21					0.29								
h1-23					0.50								
h1-24					0.82								
h1-25					1.41								
合計					15.30	合計						1.95	

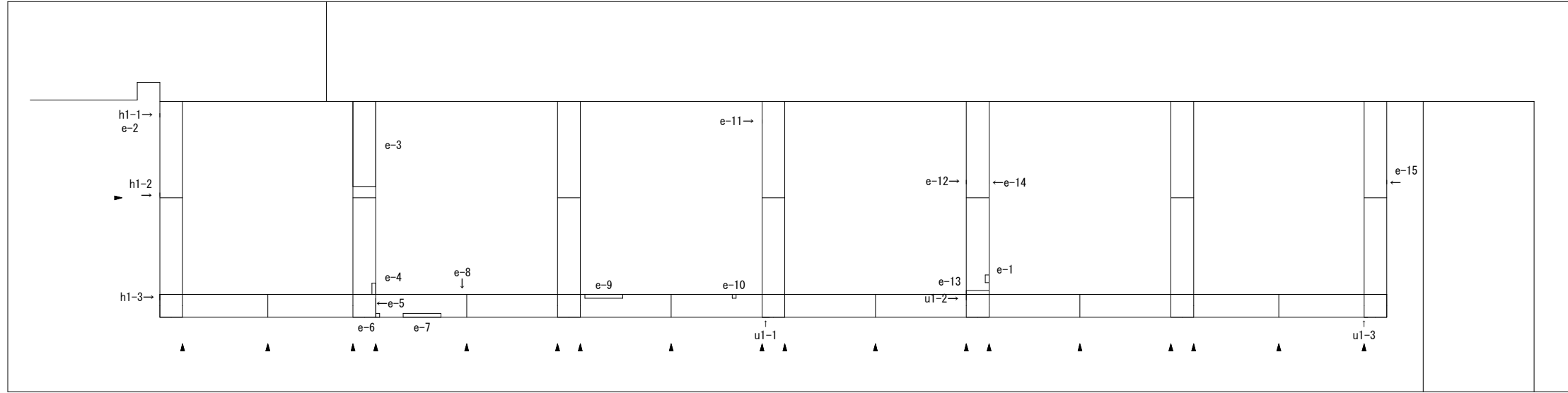
備  
考

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawing Title	実習棟 立面図11	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A-24

# 1階独立柱梁（平面）

←: シーリング位置を示す。



実習棟 独立梁、柱									
		100x50	100x50 (メリック)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	u1-1	27					1.8	0.1350	
	u1-2	11			11		1.6	0.1375	
	u1-3	3					0.5	0.0150	
	合計	41			11		3.9	0.2875	
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1								0.25
	h1-2	3					0.5	0.0150	0.15
	h1-3	1		1			0.4	0.0075	0.07
	合計	4		1			0.9	0.0225	0.47
エフロレッセンス部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル共)	e-1			8			0.6	0.0200	
	e-2	10					0.9	0.0500	
	e-3			225			3.3	0.5625	
	e-4			9			0.7	0.0225	
	e-5	5					1.1	0.0250	
	e-6			8			0.6	0.0200	
	e-7			30			2.2	0.0750	
	e-8	3					0.6	0.0150	
	e-9			50			1.5	0.1250	
	e-10			3			0.4	0.0075	
	e-11	2					0.4	0.0100	
	e-12	2					0.4	0.0100	
	e-13			22			1.3	0.0550	
	e-14	2					0.4	0.0100	
	e-15	4					0.6	0.0200	
合計	28		355			15.0	1.0275		

総数量																			★:下地モルタル共 ■:コンクリート打ち放し部分(ひび割れ長さ)		
		100x50	100x50 (メリック)	100x50 (山形)	50x50	50x50 (メリック)	50x50 (山形)	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (90° 曲メリック)	(100+50)x50 (90° 曲山形)	(100+50)x50 (窓台(山形))	(50+50)x100 (90° 屏風)	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)						
実習棟 北面	浮き部分			29							19		3.3	0.2875							
	★浮き部分	114		160						64			12.4	1.8500							
	★ひび割れ部分	66	2	31						10	1		19.0	0.5800	6.17						
	★エフロレッセンス部分				10			3			14		3.05	0.1525							
実習棟 西面	浮き部分	97 15 43		3									6.35 1.1 2.5	0.5000 0.0750 0.2150							
	★浮き部分	1576 1337 1487	22	18									32.5 27.6 27.6	7.9700 6.6850 7.5450							
	★ひび割れ部分	152 52 81		10						1			34.8 6.9 9.9	0.8175 0.2600 0.4050	11.87 2.31 4.41						
	★エフロレッセンス部分	1 84 17	21					1 7			1		0.45 8.0 2.3	0.0125 0.5875 0.0850							
	破損部分		1										0.25	0.0050							
実習棟 南面	浮き部分	145 32 245	12 4	55 110	14 3			12		14	13		16.9 5.1 31.3	1.1875 0.3600 2.5025							
	★浮き部分	707 326 88		219				16		54	151		19.3 14.1 20.0	3.5350 2.0350 2.9250							
	★ひび割れ部分	198 53 9	3 1	29							7		35.3 7.5 2.5	1.1875 0.2800 0.1050	13.87 2.66 0.95						
	★エフロレッセンス部分	122						1					5.75	0.6175							
	破損部分	45	9					14				1	4.6	0.3850							
実習棟 東面	★ひび割れ部分	8						1					0.6	0.0150							
実習棟 吹き抜け②	浮き部分	20											1.4	0.1000							
	★浮き部分	63											2.3	0.3150							
	★ひび割れ部分	962	52										9.1	5.0700							
実習棟 吹き抜け①北面	浮き部分		4						31		22		6.5	0.2625							
	★ひび割れ部分								3				0.6	0.0075	0.14						
	■ひび割れ部分														18.98						
実習棟 吹き抜け①西面	■ひび割れ部分														8.32						
実習棟 吹き抜け①南面	浮き部分		11						42		39		9.5	0.4525							
	★ひび割れ部分		9						9		9		4.5	0.1350							
	■ひび割れ部分								4				0.55	0.0100	0.34						
実習棟 独立梁、柱	浮き部分												0.2	0.0025	0.11						
	★ひび割れ部分								1						15.30						
	■ひび割れ部分														1.95						
合計	浮き部分	41											3.9	0.2875							
	★ひび割れ部分	4			1								0.9	0.0225	0.47						
	★エフロレッセンス部分	28		355									15.0	1.0275							
★合計	641	41	197	17	82	16	26	70	34	97	4	93.2	6.3850	47.78							
■合計	7654	110	467	366	8	103	33	54	247	4		335.3	44.8925	44.55							

備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawings Title	実習棟 1階独立柱平面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A-25

XA 14

XA 13

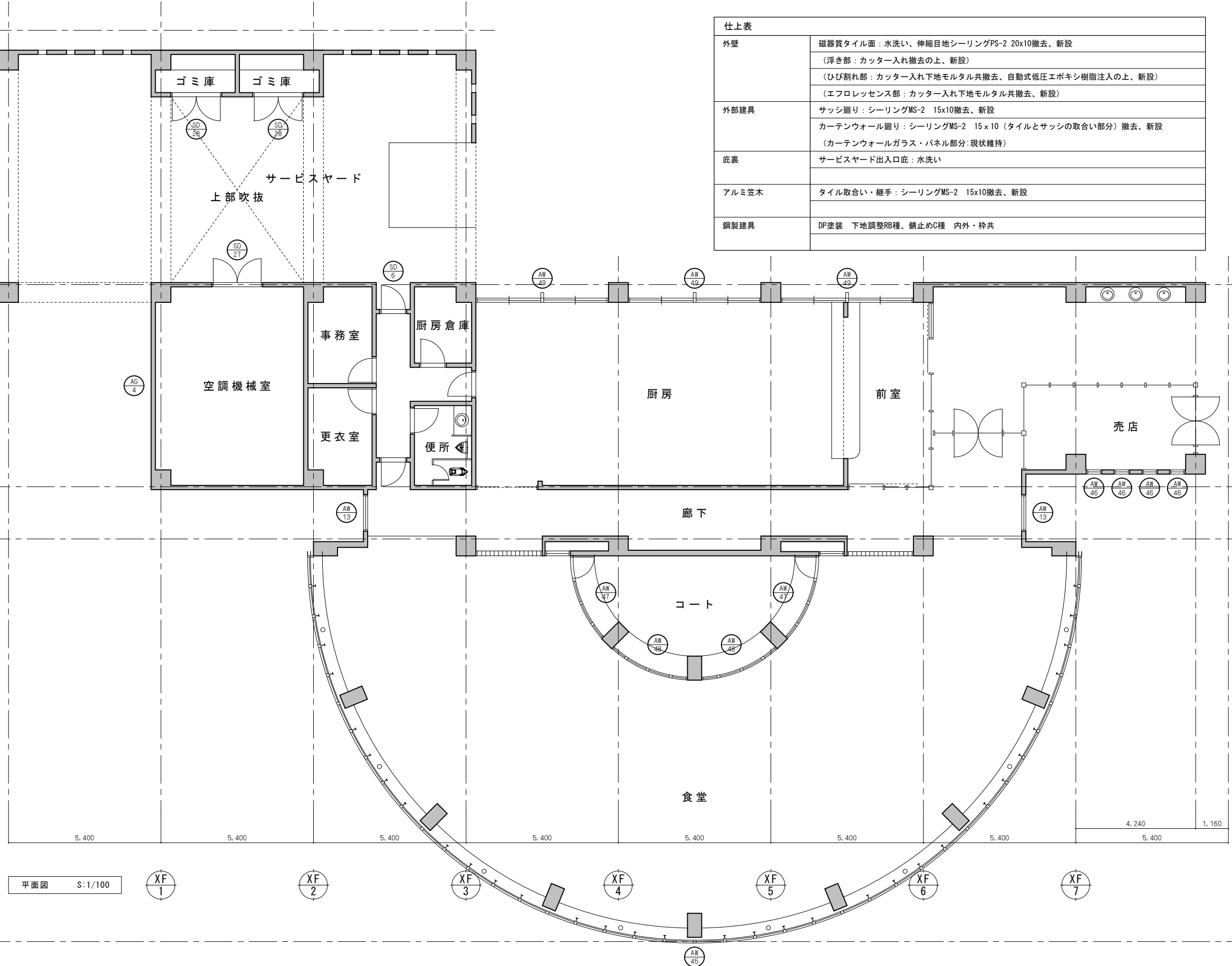
XA 12

9,000

9,000

1,850

14,250



仕上表	
外壁	磁器質タイル面：水洗い、伸縮目地シーリングPS-2 20x10撤去、新設 (浮き部：カッター入れ撤去の上、新設) (ひび割れ部：カッター入れ下地モルタル共撤去、自動式低圧エポキシ樹脂注入の上、新設) (エフロレッセンス部：カッター入れ下地モルタル共撤去、新設)
外部建具	サッシ廻り：シーリングMS-2 15x10撤去、新設 カーテンウォール廻り：シーリングMS-2 15x10 (タイルとサッシの取合い部分) 撤去、新設 (カーテンウォールガラス・パネル部分：現状維持)
底裏	サービスヤード出入口底：水洗い
アルミ笠木	タイル取合い・継手：シーリングMS-2 15x10撤去、新設
鋼製建具	DP塗装 下地調整RB種、錆止めC種 内外・枠共

平面図 S:1/100

XF 1

XF 2

XF 3

XF 4

XF 5

XF 6

XF 7

備		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	Date 2021 - 06
出			設計担当者	

XA 14

XA 13

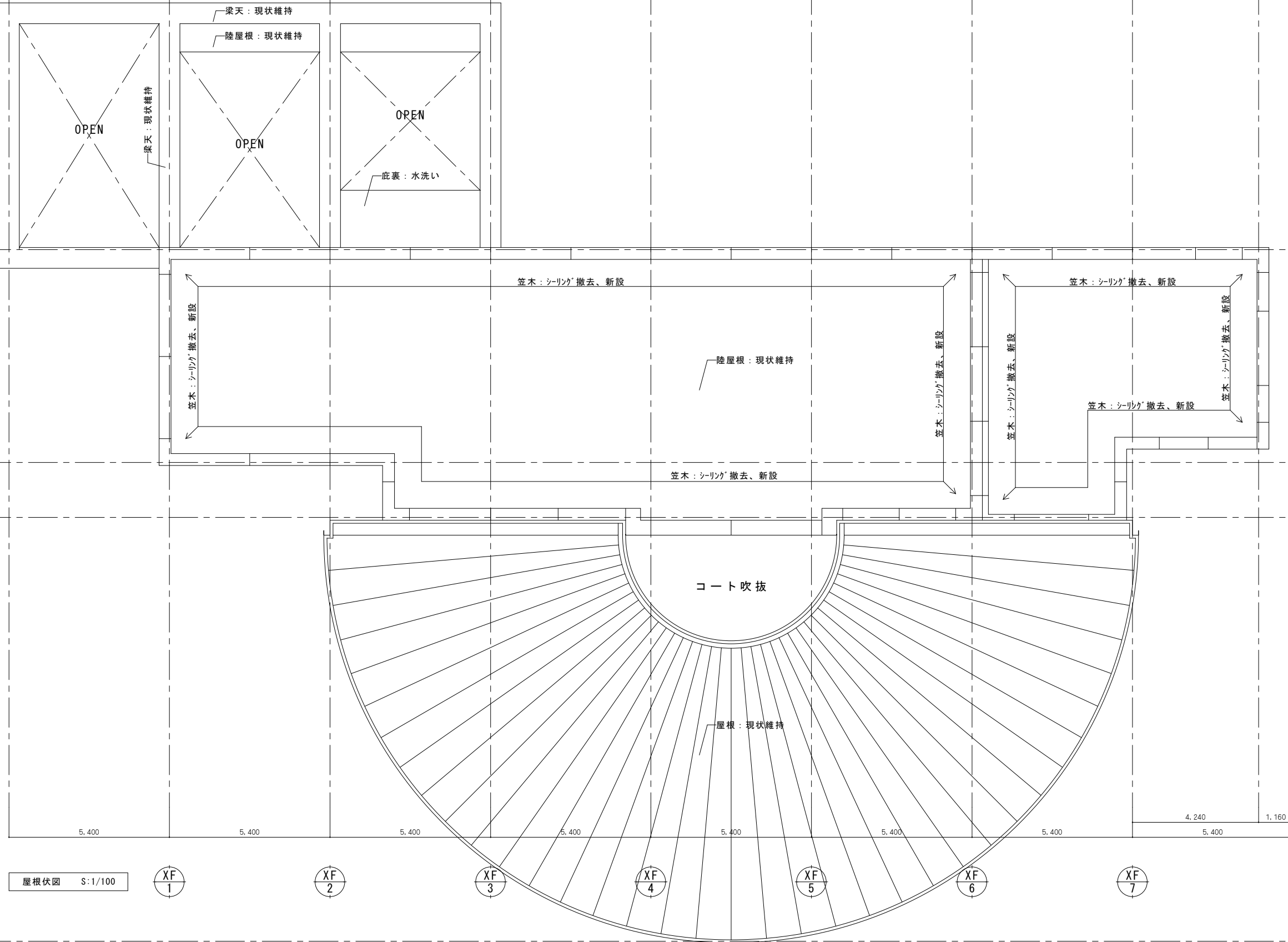
XA 12

9,000

9,000

1,650

14,250



屋根伏図 S:1/100

XF 1

XF 2

XF 3

XF 4

XF 5

XF 6

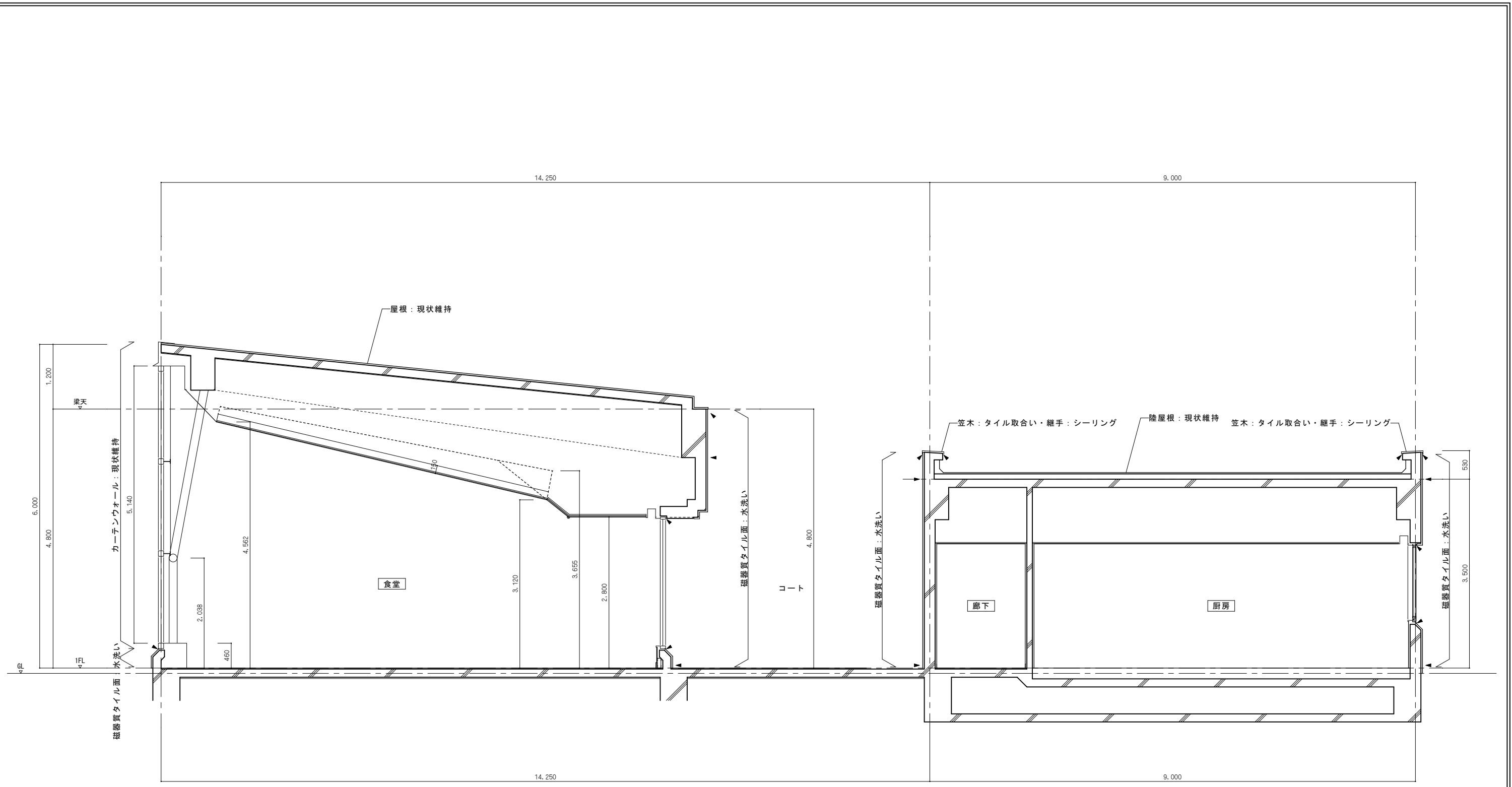
XF 7

備	
考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事
Drawing Title	食堂 屋根伏図
設計担当者	

DATE	2021 - 06
SCALE	A2:1/100 A3:1/141
	A-27



断面詳細図 S:1/50

◀ シーリング撤去、新設を示す。

YA  
12

YA  
13

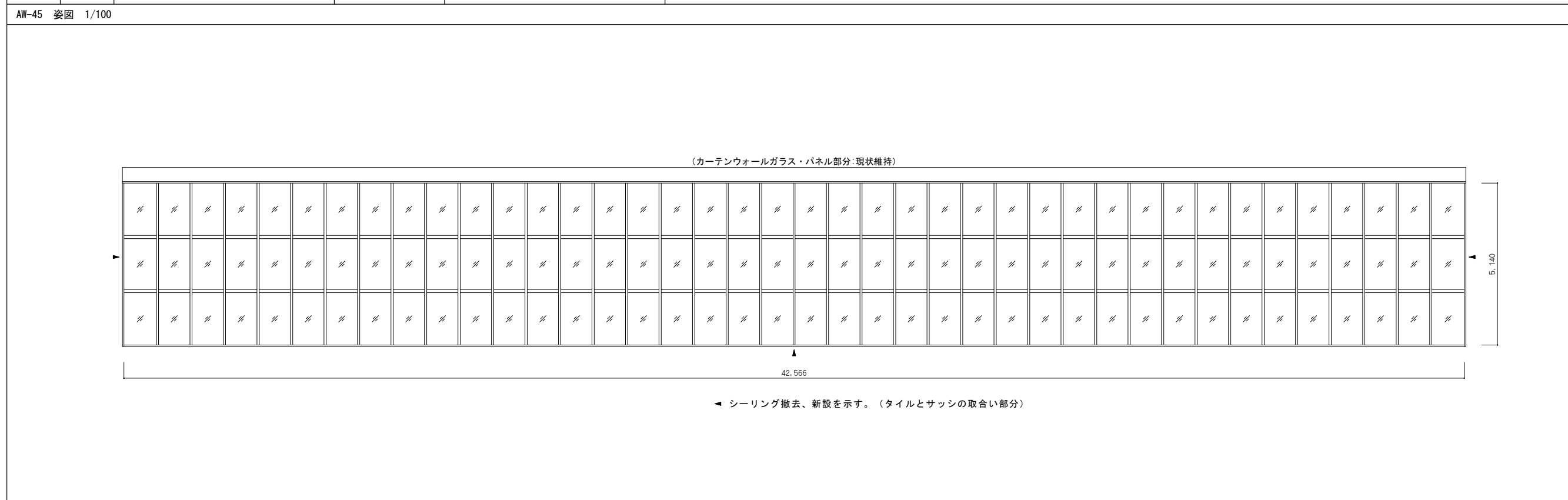
備 考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawing Title	食堂 断面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A-28

建具表				
符号	数量	形式	寸法	改修内容
SD-6	1	片開き扉ドア	850x2000 (400)	サッシ廻り：シーリングMS-2 15x10撤去、新設 SD-6, 27, 28：DP塗装
SD-27	1	両開きドア	1700x2400	
SD-28	2	両開きドア(ガラリ付)	1700x2400	
AW-13	2	縦軸回転窓	1200x1200	
AW-45	1	FIX窓	4256x5140	
AW-46	4	突き出し窓付FIX窓	450x2550 (450)	
AW-47	2	開き戸付FIX窓	3044x2350	
AW-48	2	FIX窓	2784x2350	
AW-49	3	アルミガラリ付2連引違い窓	4600x1155	
AG-4	1	アルミガラリ	5000x1000	

AW-45 姿図 1/100

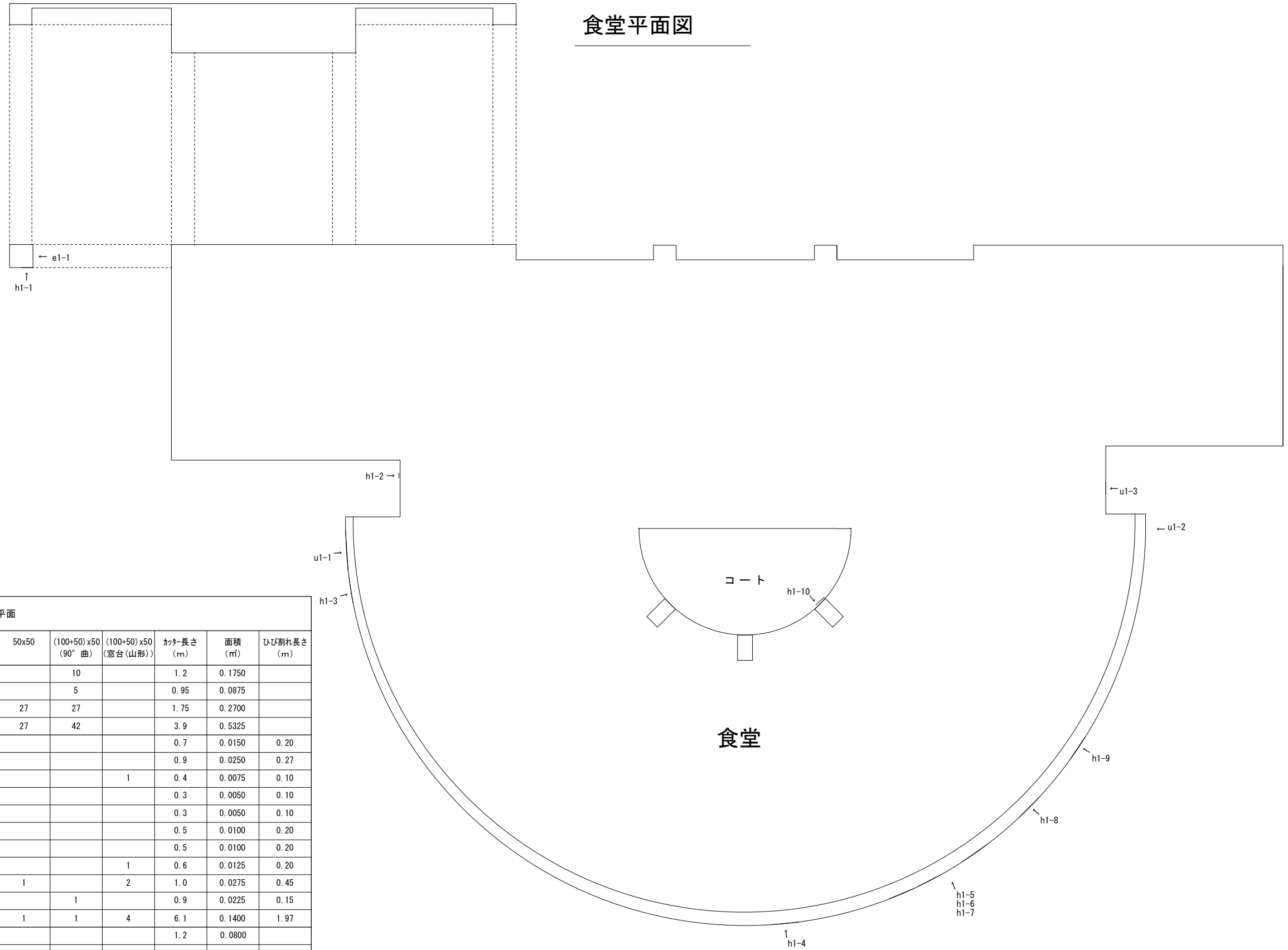


備	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawings Title	食堂 建具表	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
	設計担当		
			A - 29

# 食堂平面図



食堂 平面									
		100x50	100x50 (山形)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	u1-1	20			10		1.2	0.1750	
	u1-2	10			5		0.95	0.0875	
	u1-3			27	27		1.75	0.2700	
	合計	30		27	42		3.9	0.5325	
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1	3					0.7	0.0150	0.20
	h1-2	5					0.9	0.0250	0.27
	h1-3					1	0.4	0.0075	0.10
	h1-4		1				0.3	0.0050	0.10
	h1-5		1				0.3	0.0050	0.10
	h1-6		2				0.5	0.0100	0.20
	h1-7		2				0.5	0.0100	0.20
	h1-8		1			1	0.6	0.0125	0.20
	h1-9		2	1		2	1.0	0.0275	0.45
	h1-10	3				1	0.9	0.0225	0.15
合計	11	9	1	1	4	6.1	0.1400	1.97	
エフロッセンス部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル共)	e1-1	16					1.2	0.0800	
	合計	16					1.2	0.0800	

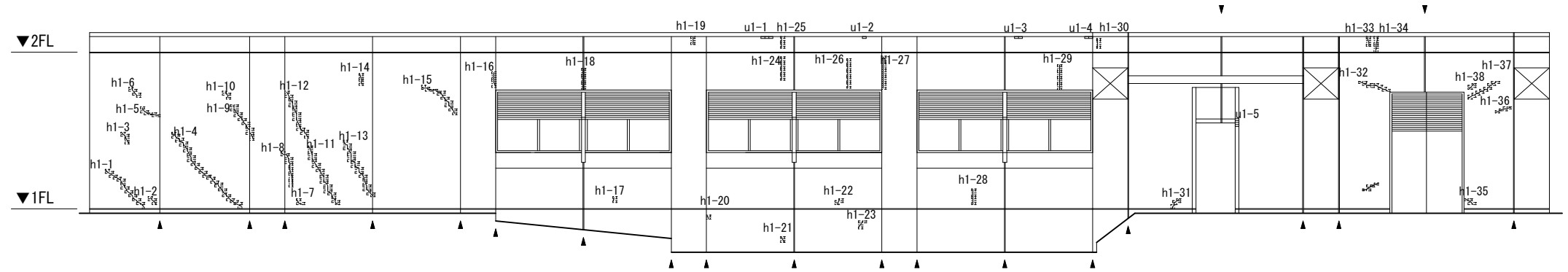
備 考	

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title	三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事	DATE	2021 - 06
Drawing Title	食堂 平面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
設計担当者			
			A-30

# 北面立面図

◀:シーリング位置を示す。



食堂 北面

		100x50	100x50 (マリック)	100x50 (山形)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		100x50	100x50 (マリック)	100x50 (山形)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
		浮き部分	u1-1	3						0.4		0.0150		ひび割れ部分	h1-1	27		1		
磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	u1-2	1						0.2	0.0050		磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-2	5					0.8	0.0250	0.23
	u1-3	2						0.3	0.0100			h1-3	7					1.0	0.0350	0.30
	u1-4	2						0.3	0.0100			h1-4	61		2			7.5	0.3150	2.85
	u1-5	4						0.5	0.0200			h1-5	9					1.5	0.0450	0.49
												h1-6	7					1.1	0.0350	0.25
											h1-7	4					0.7	0.0200	0.21	
											h1-8	22					2.4	0.1100	0.99	
											h1-9	28					3.0	0.1400	1.09	
											h1-10	5					0.8	0.0250	0.18	
											h1-11	46					4.6	0.2300	1.80	
											h1-12	35					3.6	0.1750	1.38	
											h1-13	48					4.5	0.2400	1.81	
											h1-14	6					0.8	0.0300	0.26	
											h1-15	26					3.3	0.1300	1.23	
											h1-16				8		1.1	0.0600	0.36	
											h1-17	3					0.5	0.0150	0.10	
											h1-18	10				1	1.4	0.0575	0.55	
											h1-19	4					0.5	0.0200	0.20	
											h1-20	2					0.4	0.0100	0.10	
											h1-21	3					0.5	0.0150	0.16	
											h1-22	4					0.7	0.0200	0.15	
											h1-23	5					0.8	0.0250	0.20	
											h1-24	12					1.4	0.0600	0.60	
											h1-25	6					0.7	0.0300	0.30	
											h1-26	15					1.7	0.0750	0.75	
											h1-27				17		2.0	0.1275	0.80	
											h1-28	8					1.0	0.0400	0.38	
											h1-29	12				1	1.6	0.0675	0.65	
											h1-30	5					0.7	0.0250	0.25	
											h1-31	4		2			1.0	0.0300	0.32	
											h1-32	14					2.1	0.0700	0.79	
											h1-33	5					0.6	0.0250	0.25	
											h1-34	6	2				0.9	0.0400	0.40	
											h1-35	4				1	1.0	0.0275	0.24	
											h1-36	5					1.1	0.0250	0.43	
											h1-37	16					2.5	0.0800	0.92	
											h1-38	4					0.7	0.0200	0.20	
	合計	12						1.7	0.0600		合計	483	2	5		28		64.5	2.6600	23.58

備  
考

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title 三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事

Drawing Title 食堂 立面図 1

設計担当者

DATE  
2021 - 06  
SCALE

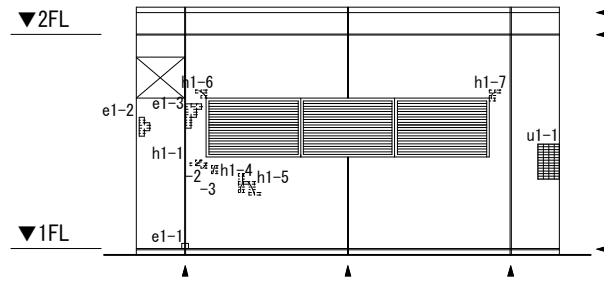
A2:1/100 A3:1/141

A-31



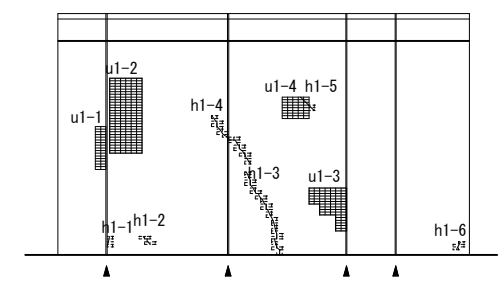
西面立面図

◀:シーリング位置を示す。



南面立面図

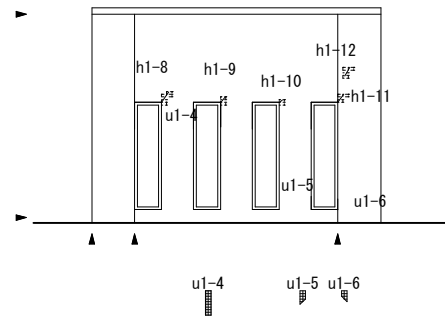
◀:シーリング位置を示す。



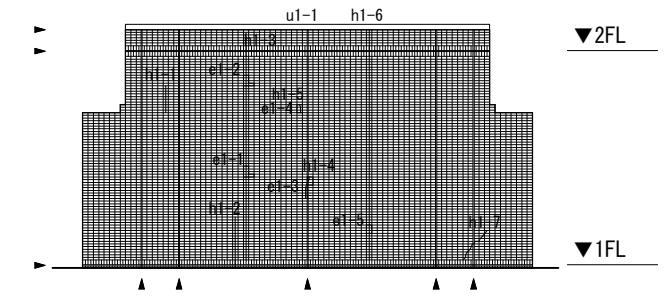
食堂 西面									
		100x50	100x50 (メタリック)	100x50 (山形)	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
浮き部分	★ u1-1	39			13		2.2	0.2925	
磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	★ 合計	39			13		2.2	0.2925	
ひび割れ部分	h1-1	3					0.55	0.0150	0.13
磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-2	2					0.35	0.0100	0.10
	h1-3	3					0.5	0.0150	0.15
	h1-4	7					0.85	0.0350	0.35
	h1-5	7					1.05	0.0350	0.27
	h1-6	4					0.7	0.0200	0.20
	h1-7	4			1		0.9	0.0275	0.17
	合計	30			1		4.9	0.1575	1.37
エフロッセンス部分	e1-1			2			0.4	0.0100	
磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル共)	e1-2	10					1.1	0.0500	
	e1-3	16					1.5	0.0800	
	合計	26		2			3.0	0.1400	

食堂 南面									
		100x50	100x50 (メタリック)	100x50 (山形)	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
浮き部分	u1-1	32					2.0	0.1600	
磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	★ u1-2	168					4.0	0.8400	
	★ u1-3	74					3.0	0.3700	
	u1-4	40					1.7	0.2000	
	合計	72					3.7	0.3600	
	★ 合計	242					7.0	1.2100	
ひび割れ部分	h1-1	4					0.6	0.0200	0.20
磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-2	5					0.9	0.0250	0.23
	h1-3	38		2			4.7	0.2000	1.85
	h1-4	26					3.2	0.1300	1.30
	h1-5	2					0.3	0.0100	0.36
	h1-6	4					0.7	0.0200	0.15
	合計	79		2			10.4	0.4050	4.09

備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事 Drawing Title 食堂 立面図 2 設計担当者	DATE
				2021 - 06
				SCALE
				A2:1/100 A3:1/141
				A-32



コート吹抜け北側 ←:シーリング位置を示す。

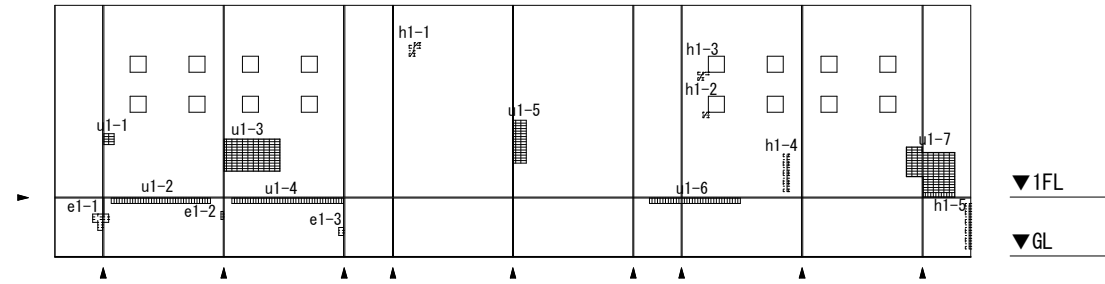


食堂 南面										
		100x50	100x50 (メタリック)	100x50 (山形)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	u1-4				9	9		0.75	0.0900	
	u1-5				5	5		0.65	0.0500	
	u1-6				4	4		0.6	0.0400	
	合計				18	18		2.0	0.1800	
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-8	5				1		1.0	0.0325	0.24
	h1-9	2				1		0.6	0.0175	0.13
	h1-10	1				1		0.5	0.0125	0.07
	h1-11	4						0.7	0.0200	0.18
	h1-12	5						0.8	0.0250	0.17
	合計	17					3		3.6	0.1075

食堂 コート吹抜け北側											※()内は重複面積を含んだ面積。	
		100x50	100x50 (メタリック)	100x50 (山形)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)		
浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	★ u1-1	6462	272	252				18.9	34.9300			
	★ 合計	6462	272	252				18.9	34.9300			
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1									0.50		
	h1-2									0.95		
	h1-3									4.25		
	h1-4									0.41		
	h1-5									0.15		
	h1-6									4.30		
	h1-7									0.78		
合計										11.34		
エフロレッセンス部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル共)	e1-1								(0.0250)			
	e1-2								(0.0250)			
	e1-3								(0.0435)			
	e1-4								(0.0150)			
	e1-5								(0.0150)			
	合計											

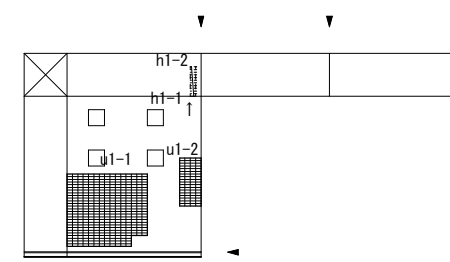
### 北立面図

◀:シーリング位置を示す。



### 西立面図

◀:シーリング位置を示す。



サービスヤード 北面

		100x50	100x50 (山形)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
		浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	u1-1	8					0.8
	u1-2		37				3.9	0.1850	
	★ u1-3	120		12			3.3	0.6300	
	u1-4		42				4.4	0.2100	
	u1-5	32		16			2.1	0.2000	
	u1-6		34				3.6	0.1700	
	★ u1-7	123	12				3.7	0.6750	
	合計	40	113	16			14.8	0.8050	
	★ 合計	243	12	12			7.0	1.3050	
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1	6					0.9	0.0300	0.30
	h1-2	2					0.4	0.0100	0.12
	h1-3	4					0.7	0.0200	0.22
	h1-4	14					1.6	0.0700	0.68
	h1-5	17					1.9	0.0850	0.85
	合計	43					5.5	0.2150	2.17
エフロッセンス部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル共)	e1-1	12					1.2	0.0600	
	e1-2			3			0.4	0.0075	
	e1-3	3					0.5	0.0150	
	合計	15		3			2.1	0.0825	

サービスヤード 西面

		100x50	100x50 (メタリック)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
		浮き部分 磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	★ u1-1	393					5.7
	★ u1-2	54			18		2.8	0.4050	
	★ 合計	447			18		8.5	2.3700	
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1			8			0.85	0.0200	0.45
	h1-2				1		1.35	0.0575	0.55
	合計	10		8	1		2.2	0.0775	1.00

備  
考

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title 三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事

DATE 2021 - 06

Drawing Title 食堂 立面図 4

SCALE A2:1/100 A3:1/141

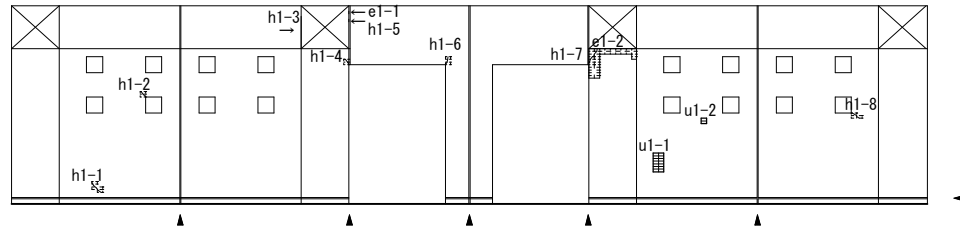
設計担当者

A-34

### 南立面図

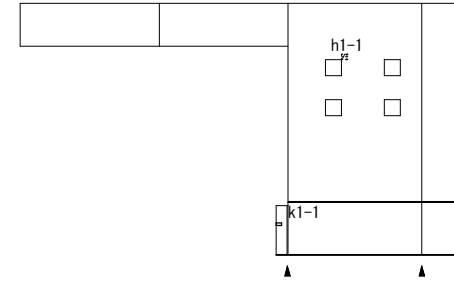
◀:シーリング位置を示す。

▼1FL



### 東立面図

◀:シーリング位置を示す。



サービスヤード 南面

		100x50	100x50 (タリツク)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
		浮き部分	u1-1	14					1.1
磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	u1-2	2					0.4	0.0100	
	合計	16					1.5	0.0800	
ひび割れ部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	h1-1	5					0.8	0.0250	0.25
	h1-2	2					0.4	0.0100	0.12
	h1-3	12					1.4	0.0600	0.60
	h1-4	2					0.4	0.0100	0.11
	h1-5	1					0.3	0.0050	0.05
	h1-6	3					0.5	0.0150	0.16
	h1-7								0.33
	h1-8	3					0.5	0.0150	0.17
合計	28					4.3	0.1400	1.79	
エフロレンセス部分 磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル共)	e1-1	1					0.3	0.0050	
	e1-2	34			4		3.2	0.2000	
	合計	35			4		3.5	0.2050	

サービスヤード 東面

		100x50	100x50 (タリツク)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
		ひび割れ部分	h1-1	2					0.4
磁器質タイル撤去、新設 (下地モルタル撤去後 自動式低圧エポキシ樹脂注入)	合計	2					0.4	0.0100	0.11
	破損部分	k1-1			1		0.4	0.0075	
磁器質タイル撤去、新設 (★:0.25㎡/箇所以上は下地モルタル共)	合計				1		0.4	0.0075	

総数量

★:下地モルタル共

		100x50	100x50 (タリツク)	100x50 (山形)	50x50	(100+50)x50 (90° 曲)	(100+50)x50 (窓台(山形))	カッター長さ (m)	面積 (㎡)	ひび割れ長さ (m)
		食堂 平面	浮き部分	30			27	42		3.9
食堂 平面	★ひび割れ部分	11		9	1	1	4	6.1	0.1400	2.00
	★エフロレンセス部分	16						1.2	0.0800	
	食堂 北面	浮き部分	12					1.7	0.0600	
食堂 北面	★ひび割れ部分	483	2	5		28		64.5	2.6600	23.58
	★浮き部分	39				13		2.2	0.2925	
	★ひび割れ部分	30				1		4.9	0.1575	1.37
食堂 西面	★エフロレンセス部分	26		2				3.0	0.1400	
	食堂 南面	浮き部分	72					3.7	0.3600	
	★浮き部分	242						7.0	1.2100	
食堂 南面	★ひび割れ部分	79		2				10.4	0.4050	4.09
	浮き部分				18	18		2.0	0.1800	
	★ひび割れ部分	17				3		3.6	0.1075	0.79
食堂 コート吹抜け北側	★浮き部分	6462	272	252				18.9	34.9300	
	★ひび割れ部分									11.34
	サービスヤード 北面	浮き部分	40		113	16			14.8	0.8050
サービスヤード 北面	★浮き部分	243		12	12			7.0	1.3050	
	★ひび割れ部分	43						5.5	0.2150	2.17
	★エフロレンセス部分	15			3			2.1	0.0825	
サービスヤード 西面	★浮き部分	447				18		8.5	2.3700	
	★ひび割れ部分	10			8	1		2.2	0.0775	1.00
	サービスヤード 南面	浮き部分	16					1.5	0.0800	
サービスヤード 南面	★ひび割れ部分	28						4.3	0.1400	1.79
	★エフロレンセス部分	35				4		3.5	0.2050	
	サービスヤード 東面	★ひび割れ部分	2					0.4	0.0100	0.11
サービスヤード 東面	破損部分					1		0.4	0.0075	
	合計	170		113	61	61	4	28.0	2.0250	
★合計	8228	274	282	24	69	4	155.3	44.5275	48.24	

備  
考

公益財団法人  
三重県建設技術センター

Job Title 三重県立看護大学実習棟・食堂棟外壁等改修工事

DATE

2021 - 06

Drawing Title

食堂 立面図 5

SCALE

A2:1/100 A3:1/141

設計担当者

A - 35